

科目授業名	授業代表教員氏名	ページ数
TOEFL P. Intermediate<1>	豊島 純子	2
TOEFL P. Intermediate<2>	石原 直美	6
TOEFL P. Intermediate<3>	石原 直美	10
TOEFL P. Intermediate<4>	小川 貴宏	14
IELTS P. Intermediate<1>	ギャラガー クリストファー	18
IELTS P. Intermediate<2>	小川 貴宏	22
TOEFL P. Advanced<1>	豊島 純子	26
TOEFL P. Advanced<2>	小川 貴宏	30
IELTS P. Advanced<1>	ギャラガー クリストファー	34
IELTS P. Advanced<2>	小川 貴宏	38
TOEIC P. Intermediate<1>	石原 直美	42
TOEIC P. Intermediate<2>	平山 真奈美	46
TOEIC P. Intermediate<3>	梅原 洋陽	50
TOEIC P. Intermediate<4>	遠藤 智子	54
TOEIC P. Intermediate<5>	石原 直美	58
TOEIC P. Intermediate<6>	豊島 純子	62
TOEIC P. Advanced<1>	遠藤 智子	66
TOEIC P. Advanced<2>	佐々木 大介	70
TOEIC P. Advanced<3>	豊島 純子	74
TOEIC P. Advanced<4>	日比野 啓	78
TOEIC P. Advanced<5>	小林 美文	82
TOEIC P. Advanced<6>	佐々木 大介	86
Presentation Skills	ハンブリ マーク	90
Discussion Skills	エヴァン ピーター ダニエル	94
Writing Skills	ギャラガー クリストファー	98
多読で学ぶ英語と文化<1>	山田 崇人	102
多読で学ぶ英語と文化<2>	小林 めぐみ	106
多読で学ぶ英語と文化<3>	ザブスラック ロナルド ステファン	110
多読で学ぶ英語と文化<4>	林 千賀	114
映画で学ぶ英語と文化<1>	宮脇 俊文	118
映画で学ぶ英語と文化<2>	小川 貴宏	122
ドラマで学ぶ英語と文化	ザブスラック ロナルド ステファン	126
歌で学ぶ英語と文化<1>	小川 貴宏	130
歌で学ぶ英語と文化<2>	黒崎 紫乃	134

科目名	TOEFL P. Intermediate <1>		
教員名	豊島 純子		
科目ナンバー	1301425010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、アメリカの大学で留学生が英語による授業を受けるのにふさわしい英語力があるかどうか測る試験であるが、アメリカだけでなく英語圏の多くの大学でTOEFLの点数を入学の判定の目安にしており、英語圏へ留学するには重要な試験である。テストには、教育機関で行う模擬試験であるTOEFL-ITPと実際の留学に使われるTOEFL-iBTがあり、それぞれ出題形式が異なっている。この授業は、TOEIC 400点以上（英検準2級・3級程度）で、留学にこだわらずに幅広く英語で学術的な文書や報告書を読み書きし、英語の発言を理解しその内容を発表することができるようにしたいと考えている人を対象としている。学習意欲があれば、スコアは400点に達していなくても受け入れるので、College Englishだけでは英語の授業が足りないと思う人は積極的に履修して欲しい。授業の内容は、どちらの形式のTOEFLにも対応しており、リスニングやリーディングを中心にしながらスピーキングやライティングも含めてオールラウンドな英語力がつけられるように指導する。

Advancedのクラスはスピーキングとライティングを中心に行うので、先にAdvancedを履修しそれからIntermediateを履修しても構いません。（逆もちろん可。）また、TOEFL Preparationに関してはIntermediate(中級)とAdvanced(上級)は同時履修（同じチームでの履修）が可能です。

前期開講の場合は予備登録なしですが、後期開講の場合は予備登録科目となります。

到達目標

DP3およびDP5を実現するために、以下の5点を到達目標とする。

- (1) TOEFL-ITPとIBTの問題形式を理解することができる。
- (2) TOEFLに必要なスキルやストラテジーを理解できる。
- (3) 自分の意見や考えを相手にわかりやすく話すことができる。
- (4) 150-200語程度の英文を書くことができる。
- (5) TOEFLのスコアをITP460点、iBT50点程度取得できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション 授業の全体像、進め方、予習・復習の仕方、課題の取り組み方等を説明する。 TOEFLテストについて概略を説明する。 TOEFLテストのスコアを上げるためにスーパー英語をどのように活用すべきか説明する。	
	【予習】 シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 教科書のPre-Unit「TOEFL Testについて」10-15頁を読む。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第2回	Unit 1のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 1のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第3回	Unit 1のSpeaking Section Unit 2のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 1のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 2のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分

第4回	Unit 2のWriting Section Unit 3のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 2のWritingのdraftを用意する。 Unit 3のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第5回	Unit 3のSpeaking Section Unit 4のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 3のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 4のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第6回	Unit 4のWriting Section Unit 5のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 4のWritingのdraftを用意する。 Unit 5のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第7回	Unit 5のSpeaking Section Unit 6 Reading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 5のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 6のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	90分
第8回	Unit 6のWriting Section 第2回から7回までのReviewとcommunicative activities	
	【予習】 Unit 6 Writingのdraftを用意する。 指定されたactivitiesの準備をする 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第9回	Unit 7のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 7のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分

第10回	Unit 7のSpeaking Section Unit 8のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 7のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 8のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第11回	Unit 8のWriting Section Unit 9のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 8のWritingのdraftを用意する。 Unit 9のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第12回	Unit 9のSpeaking Section Unit 10のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 9のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 10のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第13回	Unit 10のWriting Section Unit 11のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 10のWritingのdraftを用意する。 Unit 11のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	90分
第14回	Unit 11のSpeaking Section Unit 12のReading Section, Listening Section Independent Writing Task オンラインライティング添削のCriterionの使い方を学び、実際にWriting課題に取り組む。	
	【予習】 Unit 11のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 12のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第15回	オンラインライティング添削のCriterionで、Writing課題推敲の仕方を学ぶ。 まとめ	
	【予習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講しておく。	60分

授業の方法

対面授業をCALL教室で行う。TOEFL iBTに出題される問題の形式に慣れ、様々なスキルの能力を高めるように学習する。また、eラーニングの課題にとりくみ、TOEFL ITPに課される問題にも触れる。

成績評価の方法

平常点（20%）、スピーキング課題（20%）、ライティング課題（20%）と期末試験の成績（40%）。期末試験を実施する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

Tadayoshi Kaya, Bill Benfield 『Get Ready for the TOEFL Test (やさしく学ぶTOEFL テスト iBT/ITP対応)』成美堂、2017、2,300円（税込2,484円）ISBN 9784791960316

参考書

TOEFL受験ホームページ {<http://ac.prometric-jp.com/toefl/jp/online.html>}
Educational Testing Service, The Official Guide to the TOEFL iBT with CD-ROM, 4th ed., McGraw-Hill, 2012, 3850円、ISBN 978-0071766586
仲本 浩喜 『TOEFLテスト基本ボキャブラリー2000語』角川SSコミュニケーションズ、改訂新版、2009、2160円、ISBN 978-4048957205

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。クラスによっては、初回の授業で指示する場合もある。

科目名	TOEFL P. Intermediate <2>		
教員名	石原 直美		
科目ナンバー	1301425010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、アメリカの大学で留学生が英語による授業を受けるのにふさわしい英語力があるかどうか測る試験であるが、アメリカだけでなく英語圏の多くの大学でTOEFLの点数を入学の判定の目安にしており、英語圏へ留学するには重要な試験である。テストには、教育機関で行う模擬試験であるTOEFL-ITPと実際の留学に使われるTOEFL-iBTがあり、それぞれ出題形式が異なっている。この授業は、TOEIC 400点以上（英検準2級・3級程度）で、留学にこだわらずに幅広く英語で学術的な文書や報告書を読み書きし、英語の発言を理解しその内容を発表することができるようにしたいと考えている人を対象としている。学習意欲があれば、スコアは400点に達していなくても受け入れるので、College Englishだけでは英語の授業が足りないと思う人は積極的に履修して欲しい。授業の内容は、どちらの形式のTOEFLにも対応しており、リスニングやリーディングを中心にしながらスピーキングやライティングも含めてオールラウンドな英語力がつけられるように指導する。

Advancedのクラスはスピーキングとライティングを中心に行うので、先にAdvancedを履修しそれからIntermediateを履修しても構いません。（逆もちろん可。）また、TOEFL Preparationに関してはIntermediate(中級)とAdvanced(上級)は同時履修（同じチームでの履修）が可能です。

前期開講の場合は予備登録なしですが、後期開講の場合は予備登録科目となります。

到達目標

DP3およびDP5を実現するために、以下の5点を到達目標とする。

- (1) TOEFL-ITPとIBTの問題形式を理解することができる。
- (2) TOEFLに必要なスキルやストラテジーを理解できる。
- (3) 自分の意見や考えを相手にわかりやすく話すことができる。
- (4) 150-200語程度の英文を書くことができる。
- (5) TOEFLのスコアをITP460点、iBT50点程度取得できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	<p>イントロダクション 授業の全体像、進め方、予習・復習の仕方、課題の取り組み方等を説明する。 TOEFLテストについて概略を説明する。 TOEFLテストのスコアを上げるためにスーパー英語をどのように活用すべきか説明する。</p> <p>【予習】 シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 教科書のPre-Unit「TOEFL Testについて」10-15頁を読む。</p> <p>【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。</p>	60分
第2回	<p>Unit 1のReading Section, Listening Section</p> <p>【予習】 Unit 1のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。</p>	60分
第3回	<p>Unit 1のSpeaking Section Unit 2のReading Section, Listening Section</p> <p>【予習】 Unit 1のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 2のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。</p>	60分

第4回	Unit 2のWriting Section Unit 3のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 2のWritingのdraftを用意する。 Unit 3のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第5回	Unit 3のSpeaking Section Unit 4のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 3のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 4のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第6回	Unit 4のWriting Section Unit 5のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 4のWritingのdraftを用意する。 Unit 5のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第7回	Unit 5のSpeaking Section Unit 6 Reading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 5のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 6のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	90分
第8回	Unit 6のWriting Section 第2回から7回までのReviewとcommunicative activities	
	【予習】 Unit 6 Writingのdraftを用意する。 指定されたactivitiesの準備をする 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第9回	Unit 7のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 7のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分

第10回	Unit 7のSpeaking Section Unit 8のReading Section, Listening Section	
	【予習】Unit 7のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 8のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第11回	Unit 8のWriting Section Unit 9のReading Section, Listening Section	
	【予習】Unit 8のWritingのdraftを用意する。 Unit 9のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第12回	Unit 9のSpeaking Section Unit 10のReading Section, Listening Section	
	【予習】Unit 9のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 10のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第13回	Unit 10のWriting Section Unit 11のReading Section, Listening Section	
	【予習】Unit 10のWritingのdraftを用意する。 Unit 11のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	90分
第14回	Unit 11のSpeaking Section Unit 12のReading Section, Listening Section Independent Writing Task オンラインライティング添削のCriterionの使い方を学び、実際にWriting課題に取り組む。	
	【予習】Unit 11のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 12のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第15回	オンラインライティング添削のCriterionで、Writing課題推敲の仕方を学ぶ。 まとめ	
	【予習】指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講しておく。	60分

授業の方法

対面授業をCALL教室で行う。TOEFL iBTに出題される問題の形式に慣れ、様々なスキルの能力を高めるように学習する。また、eラーニングの課題にとりくみ、TOEFL ITPに課される問題にも触れる。

成績評価の方法

平常点（20%）、スピーキング課題（20%）、ライティング課題（20%）と期末試験の成績（40%）。期末試験を実施する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

Tadayoshi Kaya, Bill Benfield 『Get Ready for the TOEFL Test (やさしく学ぶTOEFL テスト iBT/ITP対応)』成美堂、2017、2,300円（税込2,484円）ISBN 9784791960316

参考書

TOEFL受験ホームページ {<http://ac.prometric-jp.com/toefl/jp/online.html>}
Educational Testing Service, The Official Guide to the TOEFL iBT with CD-ROM, 4th ed., McGraw-Hill, 2012, 3850円、ISBN 978-0071766586
仲本 浩喜 『TOEFLテスト基本ボキャブラリー2000語』角川SSコミュニケーションズ、改訂新版、2009、2160円、ISBN 978-4048957205

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。クラスによっては、初回の授業で指示する場合もある。

科目名	TOEFL P. Intermediate <3>		
教員名	石原 直美		
科目ナンバー	1301425010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、アメリカの大学で留学生が英語による授業を受けるのにふさわしい英語力があるかどうか測る試験であるが、アメリカだけでなく英語圏の多くの大学でTOEFLの点数を入学の判定の目安にしており、英語圏へ留学するには重要な試験である。テストには、教育機関で行う模擬試験であるTOEFL-ITPと実際の留学に使われるTOEFL-iBTがあり、それぞれ出題形式が異なっている。この授業は、TOEIC 400点以上（英検準2級・3級程度）で、留学にこだわらずに幅広く英語で学術的な文書や報告書を読み書きし、英語の発言を理解しその内容を発表することができるようにしたいと考えている人を対象としている。学習意欲があれば、スコアは400点に達していなくても受け入れるので、College Englishだけでは英語の授業が足りないと思う人は積極的に履修して欲しい。授業の内容は、どちらの形式のTOEFLにも対応しており、リスニングやリーディングを中心にしながらスピーキングやライティングも含めてオールラウンドな英語力がつけられるように指導する。

Advancedのクラスはスピーキングとライティングを中心に行うので、先にAdvancedを履修しそれからIntermediateを履修しても構いません。（逆もちろん可。）また、TOEFL Preparationに関してはIntermediate(中級)とAdvanced(上級)は同時履修（同じチームでの履修）が可能です。

前期開講の場合は予備登録なしですが、後期開講の場合は予備登録科目となります。

到達目標

DP3およびDP5を実現するために、以下の5点を到達目標とする。

- (1) TOEFL-ITPとIBTの問題形式を理解することができる。
- (2) TOEFLに必要なスキルやストラテジーを理解できる。
- (3) 自分の意見や考えを相手にわかりやすく話すことができる。
- (4) 150-200語程度の英文を書くことができる。
- (5) TOEFLのスコアをITP460点、iBT50点程度取得できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	<p>イントロダクション 授業の全体像、進め方、予習・復習の仕方、課題の取り組み方等を説明する。 TOEFLテストについて概略を説明する。 TOEFLテストのスコアを上げるためにスーパー英語をどのように活用すべきか説明する。</p> <p>【予習】 シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 教科書のPre-Unit「TOEFL Testについて」10-15頁を読む。</p> <p>【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。</p>	60分
第2回	<p>Unit 1のReading Section, Listening Section</p> <p>【予習】 Unit 1のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。</p>	60分
第3回	<p>Unit 1のSpeaking Section Unit 2のReading Section, Listening Section</p> <p>【予習】 Unit 1のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 2のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。</p>	60分

第4回	Unit 2のWriting Section Unit 3のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 2のWritingのdraftを用意する。 Unit 3のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第5回	Unit 3のSpeaking Section Unit 4のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 3のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 4のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第6回	Unit 4のWriting Section Unit 5のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 4のWritingのdraftを用意する。 Unit 5のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第7回	Unit 5のSpeaking Section Unit 6 Reading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 5のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 6のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	90分
第8回	Unit 6のWriting Section 第2回から7回までのReviewとcommunicative activities	
	【予習】 Unit 6 Writingのdraftを用意する。 指定されたactivitiesの準備をする 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第9回	Unit 7のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 7のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分

第10回	Unit 7のSpeaking Section Unit 8のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 7のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 8のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第11回	Unit 8のWriting Section Unit 9のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 8のWritingのdraftを用意する。 Unit 9のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第12回	Unit 9のSpeaking Section Unit 10のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 9のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 10のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第13回	Unit 10のWriting Section Unit 11のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 10のWritingのdraftを用意する。 Unit 11のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	90分
第14回	Unit 11のSpeaking Section Unit 12のReading Section, Listening Section Independent Writing Task オンラインライティング添削のCriterionの使い方を学び、実際にWriting課題に取り組む。	
	【予習】 Unit 11のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 12のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第15回	オンラインライティング添削のCriterionで、Writing課題推敲の仕方を学ぶ。 まとめ	
	【予習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講しておく。	60分

授業の方法

対面授業をCALL教室で行う。TOEFL iBTに出題される問題の形式に慣れ、様々なスキルの能力を高めるように学習する。また、eラーニングの課題にとりくみ、TOEFL ITPに課される問題にも触れる。

成績評価の方法

平常点（20%）、スピーキング課題（20%）、ライティング課題（20%）と期末試験の成績（40%）。期末試験を実施する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

Tadayoshi Kaya, Bill Benfield 『Get Ready for the TOEFL Test (やさしく学ぶTOEFL テスト iBT/ITP対応)』成美堂、2017、2,300円（税込2,484円）ISBN 9784791960316

参考書

TOEFL受験ホームページ {<http://ac.prometric-jp.com/toefl/jp/online.html>}
Educational Testing Service, The Official Guide to the TOEFL iBT with CD-ROM, 4th ed., McGraw-Hill, 2012, 3850円、ISBN 978-0071766586
仲本 浩喜 『TOEFLテスト基本ボキャブラリー2000語』角川SSコミュニケーションズ、改訂新版、2009、2160円、ISBN 978-4048957205

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。クラスによっては、初回の授業で指示する場合もある。

科目名	TOEFL P. Intermediate <4>		
教員名	小川 貴宏		
科目ナンバー	1301425010	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、アメリカの大学で留学生が英語による授業を受けるのにふさわしい英語力があるかどうか測る試験であるが、アメリカだけでなく英語圏の多くの大学でTOEFLの点数を入学の判定の目安にしており、英語圏へ留学するには重要な試験である。テストには、教育機関で行う模擬試験であるTOEFL-ITPと実際の留学に使われるTOEFL-iBTがあり、それぞれ出題形式が異なっている。この授業は、TOEIC 400点以上（英検準2級・3級程度）で、留学にこだわらずに幅広く英語で学術的な文書や報告書を読み書きし、英語の発言を理解しその内容を発表することができるようにしたいと考えている人を対象としている。学習意欲があれば、スコアは400点に達していなくても受け入れるので、College Englishだけでは英語の授業が足りないと思う人は積極的に履修して欲しい。授業の内容は、どちらの形式のTOEFLにも対応しており、リスニングやリーディングを中心にしながらスピーキングやライティングも含めてオールラウンドな英語力がつけられるように指導する。

Advancedのクラスはスピーキングとライティングを中心に行うので、先にAdvancedを履修しそれからIntermediateを履修しても構いません。（逆もちろん可。）また、TOEFL Preparationに関してはIntermediate(中級)とAdvanced(上級)は同時履修（同じチームでの履修）が可能です。

前期開講の場合は予備登録なしですが、後期開講の場合は予備登録科目となります。

到達目標

DP3およびDP5を実現するために、以下の5点を到達目標とする。

- (1) TOEFL-ITPとIBTの問題形式を理解することができる。
- (2) TOEFLに必要なスキルやストラテジーを理解できる。
- (3) 自分の意見や考えを相手にわかりやすく話すことができる。
- (4) 150-200語程度の英文を書くことができる。
- (5) TOEFLのスコアをITP460点、iBT50点程度取得できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション 授業の全体像、進め方、予習・復習の仕方、課題の取り組み方等を説明する。 TOEFLテストについて概略を説明する。 TOEFLテストのスコアを上げるためにスーパー英語をどのように活用すべきか説明する。	
	【予習】 シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。 教科書のPre-Unit「TOEFL Testについて」10-15頁を読む。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第2回	Unit 1のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 1のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第3回	Unit 1のSpeaking Section Unit 2のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 1のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 2のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分

第4回	Unit 2のWriting Section Unit 3のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 2のWritingのdraftを用意する。 Unit 3のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第5回	Unit 3のSpeaking Section Unit 4のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 3のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 4のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第6回	Unit 4のWriting Section Unit 5のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 4のWritingのdraftを用意する。 Unit 5のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第7回	Unit 5のSpeaking Section Unit 6 Reading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 5のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 6のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	90分
第8回	Unit 6のWriting Section 第2回から7回までのReviewとcommunicative activities	
	【予習】 Unit 6 Writingのdraftを用意する。 指定されたactivitiesの準備をする 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第9回	Unit 7のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 7のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分

第10回	Unit 7のSpeaking Section Unit 8のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 7のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 8のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第11回	Unit 8のWriting Section Unit 9のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 8のWritingのdraftを用意する。 Unit 9のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第12回	Unit 9のSpeaking Section Unit 10のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 9のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 10のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第13回	Unit 10のWriting Section Unit 11のReading Section, Listening Section	
	【予習】 Unit 10のWritingのdraftを用意する。 Unit 11のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	90分
第14回	Unit 11のSpeaking Section Unit 12のReading Section, Listening Section Independent Writing Task オンラインライティング添削のCriterionの使い方を学び、実際にWriting課題に取り組む。	
	【予習】 Unit 11のSpeakingのdraftを用意する。 Unit 12のWarm-up: Vocabulary for Reading, Reading Practiceでわからない語彙を調べ、内容理解の問題をやっておく。 【復習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講する。	60分
第15回	オンラインライティング添削のCriterionで、Writing課題推敲の仕方を学ぶ。 まとめ	
	【予習】 指定された「スーパー英語」TOEFL mini テストを受講しておく。	60分

授業の方法

対面授業をCALL教室で行う。TOEFL iBTに出題される問題の形式に慣れ、様々なスキルの能力を高めるように学習する。また、eラーニングの課題にとりくみ、TOEFL ITPに課される問題にも触れる。

成績評価の方法

平常点（20%）、スピーキング課題（20%）、ライティング課題（20%）と期末試験の成績（40%）。期末試験を実施する。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

Tadayoshi Kaya, Bill Benfield 『Get Ready for the TOEFL Test (やさしく学ぶTOEFL テスト iBT/ITP対応)』成美堂、2017、2,300円（税込2,484円）ISBN 9784791960316

参考書

TOEFL受験ホームページ {<http://ac.prometric-jp.com/toefl/jp/online.html>}
Educational Testing Service, The Official Guide to the TOEFL iBT with CD-ROM, 4th ed., McGraw-Hill, 2012, 3850円、ISBN 978-0071766586
仲本 浩喜 『TOEFLテスト基本ボキャブラリー2000語』角川SSコミュニケーションズ、改訂新版、2009、2160円、ISBN 978-4048957205

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。クラスによっては、初回の授業で指示する場合もある。

科目名	IELTS P. Intermediate <1>		
教員名	ギャラガー クリストファー		
科目ナンバー	1001425050	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

TOEIC 400点あるいはそれ以上の人が、IELTS 4~5あるいはそれ以上 を取得することを目指すクラスです。（ただし、TOEICのスコアが400点に達しない人でも、熱意があれば柔軟に受け入れるのでそのあたりはあまり心配しないでください。）IELTS の問題に合わせて作成された教材（Complete IELTS Bands 4-5, Workbook without Answers with Audio CD Cambridge University Press）を利用します。授業内でリーディング・リスニング・ライティング・スピーキングの活動をバランス良く取り入れながら、IELTS の問題の性質を理解し、より高い点が取れるようになることを目指すとともに、今後の学習方法についても指導します。

到達目標

DP3およびDP5を実現するため、次の4点を到達目標とする。この授業終了時に、
 1) IELTS の問題形式をよく理解し、自らそれに備えた学習を今後も進めていく準備ができている
 2) IELTS に必要なレベルの語彙を理解し、自ら語彙学習を今後も進めていく準備ができている
 3) IELTS のリーディング・リスニング・スピーキング及びライティングそれぞれのセクションに解答するコツが分かっている
 4) 実際の留学時に必要な読む・聴く・書く・話す準備がある程度できているようになる
 ことを目指します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	コース概要・IELTS概要の説明 ある程度問題を解いて、各自に合ったこれからの学修方法を考える	
	IELTSの概要をWeb等で調べ、ある程度の知識を得ておく。その上で、自らがIELTSの学修を進める目的と大体の目標を考えておく。（初回の授業で簡単に書いてもらいます。	60
第2回	Unit 1 Great places to be 講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
	Unit 2 People's lives 講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60

第4回	Unit 3 Getting from A to B	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第5回	Unit 4 It was all new once	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第6回	Unit 5 Animal world	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第7回	Unit 6 Being human	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第8回	Unit 7 Literacy skills	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第9回	Unit 8 Tourist attractions	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60

第10回	Unit 9 Every drop counts	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第11回	Unit 10 Building design	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第12回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (1) Reading/Listening	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第13回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (2) Writing	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第14回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (3) Speaking	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第15回	これまでの振り返り (Final Examination)	
	これまでの講義内容を復習しておく 課題（作文など）がある場合はやってくる	60

授業の方法

教科書に沿ってReading, Listening, Writing, Speakingの課題に取り組み、IELTSに慣れると共に英語の実用的な運用能力の向上を目指します。

また毎回、具体的なテーマ（たとえば海外旅行で行ってみたい場所、おすすめのスマホアプリなど）について履修者同士で会話してもらうセッションも設けますので、IELTSを受ける受けないにかかわらず、常日頃英語で気軽に会話する機会が少ないな、と感じている人も気軽に参加してください。

☆授業内で適宜使用してもらいますので、電子辞書（なければ紙の辞書）は必ず毎回持ってきてください。英語学習ツールとしての辞書の使い方にも習熟してもらいます。

成績評価の方法

授業への積極的な参加・授業内でのperformance 50%
レポート (Writing)・模擬試験・期末試験などのperformance 50%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

N/A

テキスト

Complete IELTS Bands 4-5 Student's Book without Answers with CD-ROM (ISBN-13: 978-0-521-17957-7, Cambridge University Press)
☆授業内で適宜使用してもらいますので、電子辞書（なければ紙の辞書）は必ず毎回持ってきてください。スマホでの辞書引きは不可とします。

☆テキストは高価ですが、授業でやらない部分も自学自習ができるようにサポートします。外部のIELTSの講座に通うことを考えれば、また単位が取れることを考えれば十分value for moneyがあると考えられると思います。また、英語学習は『ある程度』のお金を払った方が身に着くといえます。

参考書

N/A

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	IELTS P. Intermediate <2>		
教員名	小川 貴宏		
科目ナンバー	1001425050	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

TOEIC 400点あるいはそれ以上の人が、IELTS 4~5あるいはそれ以上 を取得することを目指すクラスです。（ただし、TOEICのスコアが400点に達しない人でも、熱意があれば柔軟に受け入れるのでそのあたりはあまり心配しないでください。）IELTS の問題に合わせて作成された教材（Complete IELTS Bands 4-5, Workbook without Answers with Audio CD Cambridge University Press）を利用します。授業内でリーディング・リスニング・ライティング・スピーキングの活動をバランス良く取り入れながら、IELTS の問題の性質を理解し、より高い点が取れるようになることを目指すとともに、今後の学習方法についても指導します。

到達目標

DP3およびDP5を実現するため、次の4点を到達目標とする。この授業終了時に、
 1) IELTS の問題形式をよく理解し、自らそれに備えた学習を今後も進めていく準備ができている
 2) IELTS に必要なレベルの語彙を理解し、自ら語彙学習を今後も進めていく準備ができている
 3) IELTS のリーディング・リスニング・スピーキング及びライティングそれぞれのセクションに解答するコツが分かっている
 4) 実際の留学時に必要な読む・聴く・書く・話す準備がある程度できているようになる
 ことを目指します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	コース概要・IELTS概要の説明 ある程度問題を解いて、各自に合ったこれからの学修方法を考える	
	IELTSの概要をWeb等で調べ、ある程度の知識を得ておく。その上で、自らがIELTSの学修を進める目的と大体の目標を考えておく。（初回の授業で簡単に書いてもらいます。	60
第2回	Unit 1 Great places to be 講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
	Unit 2 People's lives 講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60

第4回	Unit 3 Getting from A to B	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第5回	Unit 4 It was all new once	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第6回	Unit 5 Animal world	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第7回	Unit 6 Being human	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第8回	Unit 7 Literacy skills	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第9回	Unit 8 Tourist attractions	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60

第10回	Unit 9 Every drop counts	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第11回	Unit 10 Building design	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第12回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (1) Reading/Listening	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第13回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (2) Writing	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第14回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (3) Speaking	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第15回	これまでの振り返り (Final Examination)	
	これまでの講義内容を復習しておく 課題（作文など）がある場合はやってくる	60

授業の方法

教科書に沿ってReading, Listening, Writing, Speakingの課題に取り組み、IELTSに慣れると共に英語の実用的な運用能力の向上を目指します。
また毎回、具体的なテーマ（たとえば海外旅行で行ってみたい場所、おすすめのスマホアプリなど）について履修者同士で会話してもらうセッションも設けますので、IELTSを受ける受けないにかかわらず、常日頃英語で気軽に会話する機会が少ないな、と感じている人も気軽に参加してください。
☆授業内で適宜使用してもらいますので、電子辞書（なければ紙の辞書）は必ず毎回持ってきてください。英語学習ツールとしての辞書の使い方にも習熟してもらいます。

成績評価の方法

授業への積極的な参加・授業内でのperformance 50%
レポート（Writing）・模擬試験・期末試験などのperformance 50%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

N/A

テキスト

Complete IELTS Bands 4-5 Student's Book without Answers with CD-ROM (ISBN-13: 978-0-521-17957-7, Cambridge University Press)
☆授業内で適宜使用してもらいますので、電子辞書（なければ紙の辞書）は必ず毎回持ってきてください。スマホでの辞書引きは不可とします。
☆テキストは高価ですが、授業でやらない部分も自学自習ができるようにサポートします。外部のIELTSの講座に通うことを考えれば、また単位が取れることを考えれば十分value for moneyがあると考えられると思います。また、英語学習は『ある程度』のお金を払った方が身に着くといえます。

参考書

N/A

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	TOEFL P. Advanced <1>		
教員名	豊島 純子		
科目ナンバー	1301425020	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、アメリカの大学で留学生が英語による授業を受けるのにふさわしい英語力があるかどうか測る試験であるが、アメリカだけでなく英語圏の多くの大学でTOEFLの点数を入学の判定の目安にしており、英語圏へ留学するには重要な試験である。テストには、教育機関で行う模擬試験であるTOEFL-ITPと実際の留学に使われるTOEFL-iBTがあり、それぞれ出題形式が異なっている。この授業は、TOEIC 500点以上(英検準2級・2級程度)で、留学にこだわらずに幅広く英語で 学術的な文書や報告書を読み書きし、英語の発言を理解しその内容を発表することができるようにしたいと考えている人を対象としているが、学習意欲があれば、TOEICが500点に達していなくても受け入れるので、College Englishだけでは英語の授業が足りないと思う人は積極的に履修してもらいたい。授業の内容は、どちらの形式のTOEFLにも対応しており、スピーキング・ライティングを中心に実践演習を行う。

上記のとおりAdvancedのクラスはスピーキングとライティングを中心に行うので、先にAdvancedを履修しそれからIntermediateを履修しても構いません。(逆もちろん可。)また、TOEFL Preparationに関してはIntermediate(中級)とAdvanced(上級)は同時履修(同じタームでの履修)が可能です。

前期開講の場合は予備登録なしですが、後期開講の場合は予備登録科目となります。

到達目標

DP3およびDP5を実現するために、以下の5点を到達目標とする。

- 1) TOEFL-ITPとiBTの問題形式を理解することができる。
- 2) TOEFLに必要なスキルやストラテジーを理解できる。
- 3) 自分の意見や考えを相手にわかりやすく話すことができる。
- 4) 300語程度の英文を書くことができる。
- 5) TOEFLのスコアをITP480点、iBT55点程度取得できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	イントロダクション 授業の全体像、進め方、予習・復習の仕方、課題の取り組み方等を説明する。 TOEFLテストについて概略を説明する。	
	【予習】 シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。	60分
第2回	Criterionの使い方 Criterion Task 1 Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Lesson 1	
	【予習】 Criterion Task 1のアウトラインを作成する	60分
第3回	Criterion Task 1 revision Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Exercise 1	
	【予習】 Criterion Task 1を校正する	60分

第4回	Criterion Task 2 Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Lesson 2, Exercise 2	
	【予習】 Criterion Task 2のアウトラインを作成する	60分
第5回	Criterion Task 2 revision Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Lesson 3	
	【予習】 Criterion Task 2を校正する	60分
第6回	Criterion Task 3 Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Exercise 3 (1回目)	
	【予習】 Criterion Task 3のアウトラインを作成する	60分
第7回	Criterion Task 3 revision Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Exercise 3 (2回目)	
	【予習】 Criterion Task 3を校正する	60分
第8回	Review & communicative activities	
	【予習】 既習事項の復習	90分
第9回	Criterion Task 4 Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Lesson 4	
	【予習】 Criterion Task 4のアウトラインを作成する	60分

第10回	Criterion Task 4 revision Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Exercise 4 (1回目)	
	【予習】 Criterion Task 4を校正する	60分
第11回	Criterion Task 5 Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Exercise 4 (2回目)	
	【予習】 Criterion Task 5のアウトラインを作成する	60分
第12回	Criterion Task 5 revision Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Lesson 5	
	【予習】 Criterion Task 5を校正する	60分
第13回	TOEFL 模擬試験	
	TOEFL模擬試験の準備	90分
第14回	期末試験	
	期末試験の準備	90分
第15回	授業の振り返り	
	既習事項の復習	60分

授業の方法

対面授業をCALL教室で行う。TOEFL iBTに出題される問題の形式に慣れ、スピーキングとライティングスキルを中心とした能力を高めるように学習する。

成績評価の方法

Criterion課題(30%)、スピーキング課題(30%)、期末試験の成績(40%)を基準とする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

Bruce Rogers, Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Text+CD-ROM ISBN 978-981-265-987-3 Cengage Learning, 2007

参考書

TOEFL受験ホームページ

Educational Testing Service, The Official Guide to the TOEFL iBT with CD-ROM, 3rd ed., McGraw-Hill, 2009.

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	TOEFL P. Advanced <2>		
教員名	小川 貴宏		
科目ナンバー	1301425020	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要	
<p>TOEFL (Test of English as a Foreign Language) は、アメリカの大学で留学生が英語による授業を受けるのにふさわしい英語力があるかどうか測る試験であるが、アメリカだけでなく英語圏の多くの大学でTOEFLの点数を入学の判定の目安にしており、英語圏へ留学するには重要な試験である。テストには、教育機関で行う模擬試験であるTOEFL-ITPと実際の留学に使われるTOEFL-iBTがあり、それぞれ出題形式が異なっている。この授業は、TOEIC 500点以上(英検準2級・2級程度)で、留学にこだわらずに幅広く英語で 学術的な文書や報告書を読み書きし、英語の発言を理解しその内容を発表することができるようにしたいと考えている人を対象としているが、学習意欲があれば、TOEICが500点に達していなくても受け入れるので、College Englishだけでは英語の授業が足りないと思う人は積極的に履修してもらいたい。授業の内容は、どちらの形式のTOEFLにも対応しており、スピーキング・ライティングを中心に実践演習を行う。</p> <p>上記のとおりAdvancedのクラスはスピーキングとライティングを中心に行うので、先にAdvancedを履修しそれからIntermediateを履修しても構いません。(逆もちろん可。)また、TOEFL Preparationに関してはIntermediate(中級)とAdvanced(上級)は同時履修(同じタームでの履修)が可能です。</p> <p>前期開講の場合は予備登録なしですが、後期開講の場合は予備登録科目となります。</p>	

到達目標	
<p>DP3およびDP5を実現するために、以下の5点を到達目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) TOEFL-ITPとiBTの問題形式を理解することができる。 2) TOEFLに必要なスキルやストラテジーを理解できる。 3) 自分の意見や考えを相手にわかりやすく話すことができる。 4) 300語程度の英文を書くことができる。 5) TOEFLのスコアをITP480点、iBT55点程度取得できる。 	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	<p>イントロダクション 授業の全体像、進め方、予習・復習の仕方、課題の取り組み方等を説明する。 TOEFLテストについて概略を説明する。</p>	
	【予習】 シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。	60分
第2回	<p>Criterionの使い方 Criterion Task 1 Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Lesson 1</p>	
	【予習】 Criterion Task 1のアウトラインを作成する	60分
第3回	<p>Criterion Task 1 revision Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Exercise 1</p>	
	【予習】 Criterion Task 1を校正する	60分

第4回	Criterion Task 2 Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Lesson 2, Exercise 2	
	【予習】 Criterion Task 2のアウトラインを作成する	60分
第5回	Criterion Task 2 revision Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Lesson 3	
	【予習】 Criterion Task 2を校正する	60分
第6回	Criterion Task 3 Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Exercise 3 (1回目)	
	【予習】 Criterion Task 3のアウトラインを作成する	60分
第7回	Criterion Task 3 revision Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Exercise 3 (2回目)	
	【予習】 Criterion Task 3を校正する	60分
第8回	Review & communicative activities	
	【予習】 既習事項の復習	90分
第9回	Criterion Task 4 Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Lesson 4	
	【予習】 Criterion Task 4のアウトラインを作成する	60分

第10回	Criterion Task 4 revision Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Exercise 4 (1回目)	
	【予習】 Criterion Task 4を校正する	60分
第11回	Criterion Task 5 Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Exercise 4 (2回目)	
	【予習】 Criterion Task 5のアウトラインを作成する	60分
第12回	Criterion Task 5 revision Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Lesson 5	
	【予習】 Criterion Task 5を校正する	60分
第13回	TOEFL 模擬試験	
	TOEFL 模擬試験の準備	90分
第14回	期末試験	
	期末試験の準備	90分
第15回	授業の振り返り	
	既習事項の復習	60分

授業の方法

対面授業をCALL教室で行う。TOEFL iBTに出題される問題の形式に慣れ、スピーキングとライティングスキルを中心とした能力を高めるように学習する。

成績評価の方法

Criterion課題(30%)、スピーキング課題(30%)、期末試験の成績(40%)を基準とする。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

Bruce Rogers, Complete Guide to the TOEFL Test: SPEAKING (iBT) Text+CD-ROM ISBN 978-981-265-987-3 Cengage Learning, 2007

参考書

TOEFL受験ホームページ

Educational Testing Service, The Official Guide to the TOEFL iBT with CD-ROM, 3rd ed., McGraw-Hill, 2009.

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	IELTS P. Advanced <1>		
教員名	ギャラガー クリストファー		
科目ナンバー	1001425060	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

TOEIC 500点あるいはそれ以上の人が、IELTS 5-6.5あるいはそれ以上 を取得することを目指すクラスです。（ただし、TOEICのスコアが500点に達しない人でも、熱意があれば柔軟に受け入れるのでそのあたりはあまり心配しないでください。）IELTS の問題に合わせて作成された教材（Complete IELTS Bands 5-6.5, Workbook without Answers with Audio CD Cambridge University Press）を利用します。授業内でリーディング・リスニング・ライティング・スピーキングの活動をバランス良く取り入れながら、IELTS の問題の性質を理解し、より高い点が取れるようになることを目指すとともに、今後の学習方法についても指導します。

到達目標

DP3およびDP5を実現するため、次の4点を到達目標とする。この授業終了時に、
 1) IELTS の問題形式をよく理解し、自らそれに備えた学習を今後も進めていく準備ができている
 2) IELTS に必要なレベルの語彙を理解し、自ら語彙学習を今後も進めていく準備ができている
 3) IELTS のリーディング・リスニング・スピーキング及びライティングそれぞれのセクションに解答するコツが分かっている
 4) 実際の留学時に必要な読む・聴く・書く・話す準備がある程度できている
 ことを目指します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	コース概要・IELTS概要の説明 ある程度問題を解いて、各自に合ったこれからの学修方法を考える	
	IELTSの概要をWeb等で調べ、ある程度の知識を得ておく。その上で、自らがIELTSの学修を進める目的と大体の目標を考えておく。(初回の授業で簡単に書いてもらいます。	60
第2回	Unit 1 Starting somewhere new	
	講義内容の復習 課題(作文など)がある場合はやってくる	60
第3回	Unit 2 It's good for you!	
	講義内容の復習 課題(作文など)がある場合はやってくる	60

第4回	Unit 3 Getting the message across	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第5回	Unit 4 New media	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第6回	Vocabulary review (1)	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第7回	Unit 5 The world in our hands	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第8回	Unit 6 Making money, spending money	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第9回	Unit 7 Relationships	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60

第10回	Unit 8 Fashion and design	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第11回	Vocabulary review (2)	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第12回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (1) Reading	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第13回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (2) Listening	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第14回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (3) Writing	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第15回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (4) Speaking	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60

授業の方法

教科書に沿ってReading, Listening, Writing, Speakingの課題に取り組み、IELTSに慣れると共に英語の実用的な運用能力の向上を目指します。
また毎回、具体的なテーマ（たとえば海外旅行で行ってみたい場所、おすすめのスマホアプリなど）について履修者同士で会話してもらうセッションも設けますので、IELTSを受ける受けないにかかわらず、常日頃英語で気軽に会話する機会が少ないな、と感じている人も気軽に参加してください。
☆授業内で適宜使用してもらいますので、電子辞書（なければ紙の辞書）は必ず毎回持ってきてください。英語学習ツールとしての辞書の使い方にも習熟してもらいます。

成績評価の方法

授業への積極的な参加・授業内でのperformance 50%
レポート（Writing）・模擬試験・期末試験などのperformance 50%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

N/A

テキスト

Complete IELTS Bands 5-6.5 Student's Book without Answers with CD-ROM, ISBN-13: 978-0-521-17949-2
Cambridge University Press)

☆授業内で適宜使用してもらいますので、電子辞書（なければ紙の辞書）は必ず毎回持ってきてください。スマホでの辞書引きは不可とします。

☆テキストは高価ですが、授業でやらない部分も自学自習ができるようにサポートします。外部のIELTSの講座に通うことを考え、また単位が取れることを考えるとvalue for moneyがあると考えられると思います。英語学習は『ある程度』のお金を払った方が身に着くといえます。

参考書

N/A

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	IELTS P. Advanced <2>		
教員名	小川 貴宏		
科目ナンバー	1001425060	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

TOEIC 500点あるいはそれ以上の人が、IELTS 5-6.5あるいはそれ以上 を取得することを目指すクラスです。（ただし、TOEICのスコアが500点に達しない人でも、熱意があれば柔軟に受け入れるのでそのあたりはあまり心配しないでください。）IELTS の問題に合わせて作成された教材（Complete IELTS Bands 5-6.5, Workbook without Answers with Audio CD Cambridge University Press）を利用します。授業内でリーディング・リスニング・ライティング・スピーキングの活動をバランス良く取り入れながら、IELTS の問題の性質を理解し、より高い点が取れるようになることを目指すとともに、今後の学習方法についても指導します。

到達目標

DP3およびDP5を実現するため、次の4点を到達目標とする。この授業終了時に、

- 1) IELTS の問題形式をよく理解し、自らそれに備えた学習を今後も進めていく準備ができています
- 2) IELTS に必要なレベルの語彙を理解し、自ら語彙学習を今後も進めていく準備ができています
- 3) IELTS のリーディング・リスニング・スピーキング及びライティングそれぞれのセクションに解答するコツが分かっている
- 4) 実際の留学時に必要な読む・聴く・書く・話す準備がある程度できている

ことを目指します。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	コース概要・IELTS概要の説明	
	ある程度問題を解いて、各自に合ったこれからの学修方法を考える	
	IELTSの概要をWeb等で調べ、ある程度の知識を得ておく。その上で、自らがIELTSの学修を進める目的と大体の目標を考えておく。（初回の授業で簡単に書いてもらいます。	60
第2回	Unit 1 Starting somewhere new	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第3回	Unit 2 It's good for you!	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60

第4回	Unit 3 Getting the message across	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第5回	Unit 4 New media	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第6回	Vocabulary review (1)	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第7回	Unit 5 The world in our hands	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第8回	Unit 6 Making money, spending money	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第9回	Unit 7 Relationships	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60

第10回	Unit 8 Fashion and design	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第11回	Vocabulary review (2)	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第12回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (1) Reading	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第13回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (2) Listening	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第14回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (3) Writing	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60
第15回	IELTS 実戦形式での模擬試験にチャレンジ (4) Speaking	
	講義内容の復習 課題（作文など）がある場合はやってくる	60

授業の方法

教科書に沿ってReading, Listening, Writing, Speakingの課題に取り組み、IELTSに慣れると共に英語の実用的な運用能力の向上を目指します。
また毎回、具体的なテーマ（たとえば海外旅行で行ってみたい場所、おすすめのスマホアプリなど）について履修者同士で会話してもらうセッションも設けますので、IELTSを受ける受けないにかかわらず、常日頃英語で気軽に会話する機会が少ないな、と感じている人も気軽に参加してください。
☆授業内で適宜使用してもらいますので、電子辞書（なければ紙の辞書）は必ず毎回持ってきてください。英語学習ツールとしての辞書の使い方にも習熟してもらいます。

成績評価の方法

授業への積極的な参加・授業内でのperformance 50%
レポート（Writing）・模擬試験・期末試験などのperformance 50%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

N/A

テキスト

Complete IELTS Bands 5-6.5 Student's Book without Answers with CD-ROM, ISBN-13: 978-0-521-17949-2
Cambridge University Press)

☆授業内で適宜使用してもらいますので、電子辞書（なければ紙の辞書）は必ず毎回持ってきてください。スマホでの辞書引きは不可とします。

☆テキストは高価ですが、授業でやらない部分も自学自習ができるようにサポートします。外部のIELTSの講座に通うことを考え、また単位が取れることを考えるとvalue for moneyがあると考えられると思います。英語学習は『ある程度』のお金を払った方が身に着くといえます。

参考書

N/A

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	TOEIC P. Intermediate <1>		
教員名	石原 直美		
科目ナンバー	1701425030	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

TOEICの得点を向上させるために、英語教育研究の最新の知見にもとづいて、個々の学習者にとって効率のよい学習法を探ります。新TOEIC(R) テスト対策のeラーニング教材として定評のある朝日出版社のu-CATなどを使用して、語学学習においてもっとも大切な自学自修の習慣を身につけるとともに、個人指導（チュートリアル）を通じて、自らの学習をふりかえり、TOEICの得点向上のための具体的な方策を教員とともに考えます。

到達目標

長期的には、eラーニング教材を利用して今後独学でTOEIC対策を行えるだけの知識と、自分の資質や性向についての客観的把握を得ることです。当該学期においては、TOEIC公開テストにおいて、550点あるいはそれ以上をとることを目指します。すでに550点以上を取っている人は、そこからさらに100点以上の得点向上を狙ってください。これらを通じてDP 1（教養の修得）およびDP 5（表現力、発信力）の実現を目指します。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	対面授業#1：オリエンテーション u-CATの使いかた・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』語彙力診断テスト受講のしかたなど	
	<ul style="list-style-type: none"> 半年後のTOEICの目標点数や卒業までの自分のTOEICおよび英語の学習計画を紙に書いておく 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」451-480を覚える 	60
第2回	対面授業#2：TOEIC各パートの説明 実際に各パートを解いてみる 公式問題集の紹介 TOEIC-IPと公開テストの違い	
	<ul style="list-style-type: none"> クラス独自の課題を解く 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」481-510を覚える 	120
第3回	チュートリアル#1 「診断テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> u-CAT「診断テスト」を受講 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」511-540を覚える 	120

第4回	対面授業#3：語彙力を増やす 書いて覚える、音声と一緒に覚える	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」541-570を覚える 	120
第5回	チュートリアル#2 「診断テスト」「ホームワーク」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第一回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」571-600を覚える 	120
第6回	対面授業#4：ながら聞きの効用、ディクテーション YouTubeを用いたリスニング学習 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いてディクテーションを行ってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」601-630を覚える 	120
第7回	チュートリアル#3 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第一回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」631-660を覚える 	120
第8回	対面授業#5：リスニングと発音 シャドーイングを通して、英語のリズムや機能語の役割を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」661-690を覚える 	120
第9回	チュートリアル#4 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第二回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」691-720を覚える 	120

第10回	対面授業#6：文法語法熟語問題の得点を上げる ITトレメ TOEIC(R) テストの紹介	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 721-750を覚える 	120
第11回	チュートリアル#5 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第二回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 751-780を覚える 	120
第12回	対面授業#7：精読の効用 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いて精読を行なってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 781-810を覚える 	120
第13回	チュートリアル#6 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」(第三回)を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 811-840を覚える 	120
第14回	チュートリアル#7 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」「第三回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第三回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 841-870を覚える 	120
第15回	TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テスト	
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テストに備えて総仕上げを行う ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 871-900を覚える 	120

授業の方法

対面授業とチュートリアルを隔週で実施します。対面授業週には、TOEICの得点を向上させるための様々な課題を解いたり、インターネットで無料提供されているTOEIC学習教材などの検討を行ったりします。チュートリアル週には、u-CATの指定範囲を自宅あるいは大学で解いてください。チュートリアル対象者は教室で待機し、教員とともに自らの学習状況を振り返り、今後の対策や指針を考えます。

成績評価の方法

宿題 30%

授業への積極的な参加 20%

u-CAT教材の学習状況およびスコア 30%

TOEIC-IPテスト (TOEIC公開テスト) のスコア 20%

学習の成果を測るために、学期末に学内で実施される予定のTOEIC-IPテスト (二年生など受験料免除者以外の人は受験料3,400円が必要)か、学期末に実施されるTOEIC公開テストを必ず受験してください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識 / 先修科目 / 関連科目

同一学期に科目名に 'TOEIC Preparation' が入った他の科目と同時に履修することはできません。

テキスト

1) 『u-CAT : eラーニングによる新テスト対応TOEIC®[®] LISTENING AND READING TEST』 (朝日出版社 ISBN: 978-4255156095) [昨年度から新テスト形式のTOEICに対応した新テキストになっていますので、2016年度以前に履修した人は買い直す必要があります]
2) iOSまたはAndroidアプリ『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000 4訂版』 (物書堂またはImagineer・600円)
このほかにTOEIC-IPテスト受験料 (予価3,400円=受験料免除者以外の人) またはTOEIC公開テスト受験料 (5,725円) が必要になります。また、スマートフォンを使っていない人は別途 『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000 4訂版』 (旺文社 ISBN:978-4010902189) を購入する必要があります。

参考書

○電子辞書

シャープBrain PW-SB5 (オープン価格・価格.com最安値 [2018年1月31日現在] ¥31,800) またはCASIO AZ-Z9800 (税込¥33,000)。

後者は学内の紀伊國屋ブックセンターでのみ取り扱っているので注意すること。

どちらのモデルにも英米文学科が推薦する『OXFORD現代英英辞典 第9版』 (OALD9) 『リーダーズ英和辞典 第3版』 (研究社) が収録されているほか、『リーダーズ・プラス』 『新和英大辞典 第五版』 『ジーニアス英和大辞典』 など、大学で英語を学ぶために必須の辞書が多く含まれています。

質問・相談方法等 (オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知します。

科目名	TOEIC P. Intermediate <2>		
教員名	平山 真奈美		
科目ナンバー	1701425030	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

TOEICの得点を向上させるために、英語教育研究の最新の知見にもとづいて、個々の学習者にとって効率のよい学習法を探ります。新TOEIC(R) テスト対策のeラーニング教材として定評のある朝日出版社のu-CATなどを使用して、語学学習においてもっとも大切な自学自修の習慣を身につけるとともに、個人指導（チュートリアル）を通じて、自らの学習をふりかえり、TOEICの得点向上のための具体的な方策を教員とともに考えます。

到達目標

長期的には、eラーニング教材を利用して今後独学でTOEIC対策を行えるだけの知識と、自分の資質や性向についての客観的把握を得ることです。当該学期においては、TOEIC公開テストにおいて、550点あるいはそれ以上をとることを目指します。すでに550点以上を取っている人は、そこからさらに100点以上の得点向上を狙ってください。これらを通じてDP 1（教養の修得）およびDP 5（表現力、発信力）の実現を目指します。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	対面授業#1：オリエンテーション u-CATの使いかた・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』語彙力診断テスト受講のしかたなど	
	<ul style="list-style-type: none"> 半年後のTOEICの目標点数や卒業までの自分のTOEICおよび英語の学習計画を紙に書いておく 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」451-480を覚える 	60
第2回	対面授業#2：TOEIC各パートの説明 実際に各パートを解いてみる 公式問題集の紹介 TOEIC-IPと公開テストの違い	
	<ul style="list-style-type: none"> クラス独自の課題を解く 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」481-510を覚える 	120
第3回	チュートリアル#1 「診断テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> u-CAT「診断テスト」を受講 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」511-540を覚える 	120

第4回	対面授業#3：語彙力を増やす 書いて覚える、音声と一緒に覚える	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 541-570を覚える 	120
第5回	チュートリアル#2 「診断テスト」「ホームワーク」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第一回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 571-600を覚える 	120
第6回	対面授業#4：ながら聞きの効用、ディクテーション YouTubeを用いたリスニング学習 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いてディクテーションを行ってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 601-630を覚える 	120
第7回	チュートリアル#3 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第一回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 631-660を覚える 	120
第8回	対面授業#5：リスニングと発音 シャドーイングを通して、英語のリズムや機能語の役割を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 661-690を覚える 	120
第9回	チュートリアル#4 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第二回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 691-720を覚える 	120

第10回	対面授業#6：文法語法熟語問題の得点を上げる ITトレメ TOEIC(R) テストの紹介	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 721-750を覚える 	120
第11回	チュートリアル#5 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第二回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 751-780を覚える 	120
第12回	対面授業#7：精読の効用 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いて精読を行なってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 781-810を覚える 	120
第13回	チュートリアル#6 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」(第三回)を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 811-840を覚える 	120
第14回	チュートリアル#7 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」「第三回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第三回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 841-870を覚える 	120
第15回	TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テスト	
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テストに備えて総仕上げを行う ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 871-900を覚える 	120

授業の方法

対面授業とチュートリアルを隔週で実施します。対面授業週には、TOEICの得点を向上させるための様々な課題を解いたり、インターネットで無料提供されているTOEIC学習教材などの検討を行ったりします。チュートリアル週には、u-CATの指定範囲を自宅あるいは大学で解いてください。チュートリアル対象者は教室で待機し、教員とともに自らの学習状況を振り返り、今後の対策や指針を考えます。

成績評価の方法

宿題 30%

授業への積極的な参加 20%

u-CAT教材の学習状況およびスコア 30%

TOEIC-IPテスト (TOEIC公開テスト) のスコア 20%

学習の成果を測るために、学期末に学内で実施される予定のTOEIC-IPテスト (二年生など受験料免除者以外の人は受験料3,400円が必要)か、学期末に実施されるTOEIC公開テストを必ず受験してください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識/先修科目/関連科目

同一学期に科目名に 'TOEIC Preparation' が入った他の科目と同時に履修することはできません。

テキスト

1) 『u-CAT : eラーニングによる新テスト対応TOEIC®[®] LISTENING AND READING TEST』 (朝日出版社 ISBN: 978-4255156095) [昨年度から新テスト形式のTOEICに対応した新テキストになっていますので、2016年度以前に履修した人は買い直す必要があります]
2) iOSまたはAndroidアプリ『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000 4訂版』 (物書堂またはImagineer・600円)
このほかにTOEIC-IPテスト受験料 (予価3,400円=受験料免除者以外の人) またはTOEIC公開テスト受験料 (5,725円) が必要になります。また、スマートフォンを使っていない人は別途 『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000 4訂版』 (旺文社 ISBN:978-4010902189) を購入する必要があります。

参考書

○電子辞書

シャープBrain PW-SB5 (オープン価格・価格.com最安値 [2018年1月31日現在] ¥31,800) またはCASIO AZ-Z9800 (税込¥33,000)。

後者は学内の紀伊國屋ブックセンターでのみ取り扱っているので注意すること。

どちらのモデルにも英米文学科が推薦する『OXFORD現代英英辞典 第9版』 (OALD9) 『リーダーズ英和辞典 第3版』 (研究社) が収録されているほか、『リーダーズ・プラス』 『新和英大辞典 第五版』 『ジーニアス英和大辞典』 など、大学で英語を学ぶために必須の辞書が多く含まれています。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知します。

科目名	TOEIC P. Intermediate <3>		
教員名	梅原 洋陽		
科目ナンバー	1701425030	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

TOEICの得点を向上させるために、英語教育研究の最新の知見にもとづいて、個々の学習者にとって効率のよい学習法を探ります。新TOEIC(R) テスト対策のeラーニング教材として定評のある朝日出版社のu-CATなどを使用して、語学学習においてもっとも大切な自学自修の習慣を身につけるとともに、個人指導（チュートリアル）を通じて、自らの学習をふりかえり、TOEICの得点向上のための具体的な方策を教員とともに考えます。

到達目標

長期的には、eラーニング教材を利用して今後独学でTOEIC対策を行えるだけの知識と、自分の資質や性向についての客観的把握を得ることです。当該学期においては、TOEIC公開テストにおいて、550点あるいはそれ以上をとることを目指します。すでに550点以上を取っている人は、そこからさらに100点以上の得点向上を狙ってください。これらを通じてDP 1（教養の修得）およびDP 5（表現力、発信力）の実現を目指します。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	対面授業#1：オリエンテーション u-CATの使いかた・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』語彙力診断テスト受講のしかたなど	
	<ul style="list-style-type: none"> 半年後のTOEICの目標点数や卒業までの自分のTOEICおよび英語の学習計画を紙に書いておく 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」451-480を覚える 	60
第2回	対面授業#2：TOEIC各パートの説明 実際に各パートを解いてみる 公式問題集の紹介 TOEIC-IPと公開テストの違い	
	<ul style="list-style-type: none"> クラス独自の課題を解く 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」481-510を覚える 	120
第3回	チュートリアル#1 「診断テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> u-CAT「診断テスト」を受講 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」511-540を覚える 	120

第4回	対面授業#3：語彙力を増やす 書いて覚える、音声と一緒に覚える	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」541-570を覚える 	120
第5回	チュートリアル#2 「診断テスト」「ホームワーク」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第一回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」571-600を覚える 	120
第6回	対面授業#4：ながら聞きの効用、ディクテーション YouTubeを用いたリスニング学習 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いてディクテーションを行ってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」601-630を覚える 	120
第7回	チュートリアル#3 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第一回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」631-660を覚える 	120
第8回	対面授業#5：リスニングと発音 シャドーイングを通して、英語のリズムや機能語の役割を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」661-690を覚える 	120
第9回	チュートリアル#4 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第二回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」691-720を覚える 	120

第10回	対面授業#6：文法語法熟語問題の得点を上げる ITトレメ TOEIC(R) テストの紹介	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 721-750を覚える 	120
第11回	チュートリアル#5 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第二回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 751-780を覚える 	120
第12回	対面授業#7：精読の効用 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いて精読を行なってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 781-810を覚える 	120
第13回	チュートリアル#6 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」(第三回)を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 811-840を覚える 	120
第14回	チュートリアル#7 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」「第三回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第三回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 841-870を覚える 	120
第15回	TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テスト	
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テストに備えて総仕上げを行う ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 871-900を覚える 	120

授業の方法

対面授業とチュートリアルを隔週で実施します。対面授業週には、TOEICの得点を向上させるための様々な課題を解いたり、インターネットで無料提供されているTOEIC学習教材などの検討を行ったりします。チュートリアル週には、u-CATの指定範囲を自宅あるいは大学で解いてください。チュートリアル対象者は教室で待機し、教員とともに自らの学習状況を振り返り、今後の対策や指針を考えます。

成績評価の方法

宿題 30%

授業への積極的な参加 20%

u-CAT教材の学習状況およびスコア 30%

TOEIC-IPテスト (TOEIC公開テスト) のスコア 20%

学習の成果を測るために、学期末に学内で実施される予定のTOEIC-IPテスト (二年生など受験料免除者以外の人は受験料3,400円が必要)か、学期末に実施されるTOEIC公開テストを必ず受験してください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識 / 先修科目 / 関連科目

同一学期に科目名に 'TOEIC Preparation' が入った他の科目と同時に履修することはできません。

テキスト

1) 『u-CAT : eラーニングによる新テスト対応TOEIC®[®] LISTENING AND READING TEST』 (朝日出版社 ISBN: 978-4255156095) [昨年度から新テスト形式のTOEICに対応した新テキストになっていますので、2016年度以前に履修した人は買い直す必要があります]
2) iOSまたはAndroidアプリ『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000 4訂版』 (物書堂またはImagineer・600円)
このほかにTOEIC-IPテスト受験料 (予価3,400円=受験料免除者以外の人) またはTOEIC公開テスト受験料 (5,725円) が必要になります。また、スマートフォンを使っていない人は別途 『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000 4訂版』 (旺文社 ISBN: 978-4010902189) を購入する必要があります。

参考書

○電子辞書

シャープBrain PW-SB5 (オープン価格・価格.com最安値 [2018年1月31日現在] ¥31,800) またはCASIO AZ-Z9800 (税込¥33,000)。

後者は学内の紀伊國屋ブックセンターでのみ取り扱っているので注意すること。

どちらのモデルにも英米文学科が推薦する『OXFORD現代英英辞典 第9版』 (OALD9) 『リーダーズ英和辞典 第3版』 (研究社) が収録されているほか、『リーダーズ・プラス』 『新和英大辞典 第五版』 『ジーニアス英和大辞典』 など、大学で英語を学ぶために必須の辞書が多く含まれています。

質問・相談方法等 (オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知します。

科目名	TOEIC P. Intermediate <4>		
教員名	遠藤 智子		
科目ナンバー	1701425030	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

TOEICの得点を向上させるために、英語教育研究の最新の知見にもとづいて、個々の学習者にとって効率のよい学習法を探ります。新TOEIC(R) テスト対策のeラーニング教材として定評のある朝日出版社のu-CATなどを使用して、語学学習においてもっとも大切な自学自修の習慣を身につけるとともに、個人指導（チュートリアル）を通じて、自らの学習をふりかえり、TOEICの得点向上のための具体的な方策を教員とともに考えます。

到達目標

長期的には、eラーニング教材を利用して今後独学でTOEIC対策を行えるだけの知識と、自分の資質や性向についての客観的把握を得ることです。当該学期においては、TOEIC公開テストにおいて、550点あるいはそれ以上をとることを目指します。すでに550点以上を取っている人は、そこからさらに100点以上の得点向上を狙ってください。これらを通じてDP 1（教養の修得）およびDP 5（表現力、発信力）の実現を目指します。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	対面授業#1：オリエンテーション u-CATの使いかた・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』語彙力診断テスト受講のしかたなど	
	<ul style="list-style-type: none"> 半年後のTOEICの目標点数や卒業までの自分のTOEICおよび英語の学習計画を紙に書いておく 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」451-480を覚える 	60
第2回	対面授業#2：TOEIC各パートの説明 実際に各パートを解いてみる 公式問題集の紹介 TOEIC-IPと公開テストの違い	
	<ul style="list-style-type: none"> クラス独自の課題を解く 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」481-510を覚える 	120
第3回	チュートリアル#1 「診断テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> u-CAT「診断テスト」を受講 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」511-540を覚える 	120

第4回	対面授業#3：語彙力を増やす 書いて覚える、音声と一緒に覚える	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」541-570を覚える 	120
第5回	チュートリアル#2 「診断テスト」「ホームワーク」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第一回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」571-600を覚える 	120
第6回	対面授業#4：ながら聞きの効用、ディクテーション YouTubeを用いたリスニング学習 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いてディクテーションを行ってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」601-630を覚える 	120
第7回	チュートリアル#3 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第一回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」631-660を覚える 	120
第8回	対面授業#5：リスニングと発音 シャドーイングを通して、英語のリズムや機能語の役割を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」661-690を覚える 	120
第9回	チュートリアル#4 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第二回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」691-720を覚える 	120

第10回	対面授業#6：文法語法熟語問題の得点を上げる ITトレメ TOEIC(R) テストの紹介	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 721-750を覚える 	120
第11回	チュートリアル#5 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第二回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 751-780を覚える 	120
第12回	対面授業#7：精読の効用 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いて精読を行なってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 781-810を覚える 	120
第13回	チュートリアル#6 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」(第三回)を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 811-840を覚える 	120
第14回	チュートリアル#7 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」「第三回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第三回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 841-870を覚える 	120
第15回	TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テスト	
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テストに備えて総仕上げを行う ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank B」 871-900を覚える 	120

授業の方法

対面授業とチュートリアルを隔週で実施します。対面授業週には、TOEICの得点を向上させるための様々な課題を解いたり、インターネットで無料提供されているTOEIC学習教材などの検討を行ったりします。チュートリアル週には、u-CATの指定範囲を自宅あるいは大学で解いてください。チュートリアル対象者は教室で待機し、教員とともに自らの学習状況を振り返り、今後の対策や指針を考えます。

成績評価の方法

宿題 30%

授業への積極的な参加 20%

u-CAT教材の学習状況およびスコア 30%

TOEIC-IPテスト (TOEIC公開テスト) のスコア 20%

学習の成果を測るために、学期末に学内で実施される予定のTOEIC-IPテスト (二年生など受験料免除者以外の人は受験料3,400円が必要)か、学期末に実施されるTOEIC公開テストを必ず受験してください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識 / 先修科目 / 関連科目

同一学期に科目名に 'TOEIC Preparation' が入った他の科目と同時に履修することはできません。

テキスト

1) 『u-CAT : eラーニングによる新テスト対応TOEIC®[®] LISTENING AND READING TEST』 (朝日出版社 ISBN: 978-4255156095) [昨年度から新テスト形式のTOEICに対応した新テキストになっていますので、2016年度以前に履修した人は買い直す必要があります]
2) iOSまたはAndroidアプリ『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000 4訂版』 (物書堂またはImagineer・600円)
このほかにTOEIC-IPテスト受験料 (予価3,400円=受験料免除者以外の人) またはTOEIC公開テスト受験料 (5,725円) が必要になります。また、スマートフォンを使っていない人は別途 『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000 4訂版』 (旺文社 ISBN:978-4010902189) を購入する必要があります。

参考書

○電子辞書

シャープBrain PW-SB5 (オープン価格・価格.com最安値 [2018年1月31日現在] ¥31,800) またはCASIO AZ-Z9800 (税込¥33,000)。

後者は学内の紀伊國屋ブックセンターでのみ取り扱っているので注意すること。

どちらのモデルにも英米文学科が推薦する『OXFORD現代英英辞典 第9版』 (OALD9) 『リーダーズ英和辞典 第3版』 (研究社) が収録されているほか、『リーダーズ・プラス』 『新和英大辞典 第五版』 『ジーニアス英和大辞典』 など、大学で英語を学ぶために必須の辞書が多く含まれています。

質問・相談方法等 (オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知します。

科目名	TOEIC P. Intermediate <5>		
教員名	石原 直美		
科目ナンバー	1801425030	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

TOEICの得点を向上させるために、英語教育研究の最新の知見にもとづいて、個々の学習者にとって効率のよい学習法を探ります。新TOEIC(R) テスト対策のeラーニング教材として定評のある朝日出版社のu-CATなどを使用して、語学学習においてもっとも大切な自学自修の習慣を身につけるとともに、個人指導(チュートリアル)を通じて、自らの学習をふりかえり、TOEICの得点向上のための具体的な方策を教員とともに考えます。

到達目標

長期的には、eラーニング教材を利用して今後独学でTOEIC対策を行えるだけの知識と、自分の資質や性向についての客観的把握を得ることです。当該学期においては、TOEIC公開テストにおいて、550点あるいはそれ以上をとることを目指します。すでに550点以上を取っている人は、そこからさらに100点以上の得点向上を狙ってください。これらを通じてDP1(教養の修得)およびDP5(表現力、発信力)の実現を目指します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	授業の計画・内容 準備学修(予習・復習等)	
	対面授業#1: オリエンテーション u-CATの使いかた・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』語彙力診断テスト受講のしかたなど	
	<ul style="list-style-type: none"> 半年後のTOEICの目標点数や卒業までの自分のTOEICおよび英語の学習計画を紙に書いておく 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」451-480を覚える 	60
第2回	対面授業#2: TOEIC各パートの説明 実際に各パートを解いてみる 公式問題集の紹介 TOEIC-IPと公開テストの違い	
	<ul style="list-style-type: none"> クラス独自の課題を解く 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」481-510を覚える 	120
第3回	チュートリアル#1 「診断テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> u-CAT「診断テスト」を受講 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」511-540を覚える 	120

第4回	対面授業#3：語彙力を増やす 書いて覚える、音声と一緒に覚える	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」541-570を覚える 	120
第5回	チュートリアル#2 「診断テスト」「ホームワーク」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第一回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」571-600を覚える 	120
第6回	対面授業#4：ながら聞きの効用、ディクテーション YouTubeを用いたリスニング学習 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いてディクテーションを行ってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」601-630を覚える 	120
第7回	チュートリアル#3 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第一回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」631-660を覚える 	120
第8回	対面授業#5：リスニングと発音 シャドーイングを通して、英語のリズムや機能語の役割を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」661-690を覚える 	120
第9回	チュートリアル#4 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第二回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」691-720を覚える 	120

第10回	対面授業#6：文法語法熟語問題の得点を上げる ITトレメ TOEIC(R) テストの紹介	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 721-750を覚える 	120
第11回	チュートリアル#5 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第二回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 751-780を覚える 	120
第12回	対面授業#7：精読の効用 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いて精読を行なってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 781-810を覚える 	120
第13回	チュートリアル#6 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」(第三回)を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 811-840を覚える 	120
第14回	チュートリアル#7 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」「第三回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第三回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 841-870を覚える 	120
第15回	TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テスト	
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テストに備えて総仕上げを行う ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 871-900を覚える 	120

授業の方法

対面授業とチュートリアルを隔週で実施します。対面授業週には、TOEICの得点を向上させるための様々な課題を解いたり、インターネットで無料提供されているTOEIC学習教材などの検討を行ったりします。チュートリアル週には、u-CATの指定範囲を自宅あるいは大学で解いてください。チュートリアル対象者は教室で待機し、教員とともに自らの学習状況を振り返り、今後の対策や指針を考えます。

成績評価の方法

宿題 30%

授業への積極的な参加 20%

u-CAT教材の学習状況およびスコア 30%

TOEIC-IPテスト (TOEIC公開テスト) のスコア 20%

学習の成果を測るために、学期末に学内で実施される予定のTOEIC-IPテスト (二年生など受験料免除者以外の人は受験料3,400円が必要)か、学期末に実施されるTOEIC公開テストを必ず受験してください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識/先修科目/関連科目

同一学期に科目名に 'TOEIC Preparation' が入った他の科目と同時に履修することはできません。

テキスト

- 1) 『u-CAT : eラーニングによる新テスト対応TOEIC®[®] LISTENING AND READING TEST』 (朝日出版社 ISBN: 978-4255156095) [昨年度から新テスト形式のTOEICに対応した新テキストになっていますので、2016年度以前に履修した人は買い直す必要があります]
- 2) iOSまたはAndroidアプリ『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (物書堂またはImagineer・600円)
このほかにTOEIC-IPテスト受験料 (予価3,400円=受験料免除者以外の人) またはTOEIC公開テスト受験料 (5,725円) が必要になります。また、スマートフォンを使っていない人は別途 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (旺文社 ISBN:978-4010902189) を購入する必要があります。

参考書

○電子辞書

シャープBrain PW-SB5 (オープン価格・価格.com最安値 [2018年1月31日現在] ¥31,800) またはCASIO AZ-Z9800 (税込¥33,000)。

後者は学内の紀伊國屋ブックセンターでのみ取り扱っているので注意すること。

どちらのモデルにも英米文学科が推薦する『OXFORD現代英英辞典 第9版』 (OALD9) 『リーダーズ英和辞典 第3版』 (研究社) が収録されているほか、『リーダーズ・プラス』 『新和英大辞典 第五版』 『ジーニアス英和大辞典』 など、大学で英語を学ぶために必須の辞書が多く含まれています。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知します。

科目名	TOEIC P. Intermediate <6>		
教員名	豊島 純子		
科目ナンバー	1801425030	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

TOEICの得点を向上させるために、英語教育研究の最新の知見にもとづいて、個々の学習者にとって効率のよい学習法を探ります。新TOEIC(R) テスト対策のeラーニング教材として定評のある朝日出版社のu-CATなどを使用して、語学学習においてもっとも大切な自学自修の習慣を身につけるとともに、個人指導（チュートリアル）を通じて、自らの学習をふりかえり、TOEICの得点向上のための具体的な方策を教員とともに考えます。

到達目標

長期的には、eラーニング教材を利用して今後独学でTOEIC対策を行えるだけの知識と、自分の資質や性向についての客観的把握を得ることです。当該学期においては、TOEIC公開テストにおいて、550点あるいはそれ以上をとることを目指します。すでに550点以上を取っている人は、そこからさらに100点以上の得点向上を狙ってください。これらを通じてDP 1（教養の修得）およびDP 5（表現力、発信力）の実現を目指します。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	対面授業#1：オリエンテーション u-CATの使いかた・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』語彙力診断テスト受講のしかたなど	
	<ul style="list-style-type: none"> 半年後のTOEICの目標点数や卒業までの自分のTOEICおよび英語の学習計画を紙に書いておく 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」451-480を覚える 	60
第2回	対面授業#2：TOEIC各パートの説明 実際に各パートを解いてみる 公式問題集の紹介 TOEIC-IPと公開テストの違い	
	<ul style="list-style-type: none"> クラス独自の課題を解く 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」481-510を覚える 	120
第3回	チュートリアル#1 「診断テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> u-CAT「診断テスト」を受講 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank B」511-540を覚える 	120

第4回	対面授業#3：語彙力を増やす 書いて覚える、音声と一緒に覚える	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」541-570を覚える 	120
第5回	チュートリアル#2 「診断テスト」「ホームワーク」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第一回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」571-600を覚える 	120
第6回	対面授業#4：ながら聞きの効用、ディクテーション YouTubeを用いたリスニング学習 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いてディクテーションを行ってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」601-630を覚える 	120
第7回	チュートリアル#3 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第一回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」631-660を覚える 	120
第8回	対面授業#5：リスニングと発音 シャドーイングを通して、英語のリズムや機能語の役割を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」661-690を覚える 	120
第9回	チュートリアル#4 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第二回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank B」691-720を覚える 	120

第10回	対面授業#6：文法語法熟語問題の得点を上げる ITトレメ TOEIC(R) テストの紹介	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 721-750を覚える 	120
第11回	チュートリアル#5 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第二回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 751-780を覚える 	120
第12回	対面授業#7：精読の効用 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いて精読を行なってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 781-810を覚える 	120
第13回	チュートリアル#6 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」(第三回)を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 811-840を覚える 	120
第14回	チュートリアル#7 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」「第三回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第三回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 841-870を覚える 	120
第15回	TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テスト	
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テストに備えて総仕上げを行う ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank B」 871-900を覚える 	120

授業の方法

対面授業とチュートリアルを隔週で実施します。対面授業週には、TOEICの得点を向上させるための様々な課題を解いたり、インターネットで無料提供されているTOEIC学習教材などの検討を行ったりします。チュートリアル週には、u-CATの指定範囲を自宅あるいは大学で解いてください。チュートリアル対象者は教室で待機し、教員とともに自らの学習状況を振り返り、今後の対策や指針を考えます。

成績評価の方法

宿題 30%

授業への積極的な参加 20%

u-CAT教材の学習状況およびスコア 30%

TOEIC-IPテスト (TOEIC公開テスト) のスコア 20%

学習の成果を測るために、学期末に学内で実施される予定のTOEIC-IPテスト (二年生など受験料免除者以外の人は受験料3,400円が必要)か、学期末に実施されるTOEIC公開テストを必ず受験してください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識/先修科目/関連科目

同一学期に科目名に 'TOEIC Preparation' が入った他の科目と同時に履修することはできません。

テキスト

- 1) 『u-CAT : eラーニングによる新テスト対応TOEIC®[®] LISTENING AND READING TEST』 (朝日出版社 ISBN: 978-4255156095) [昨年度から新テスト形式のTOEICに対応した新テキストになっていますので、2016年度以前に履修した人は買い直す必要があります]
- 2) iOSまたはAndroidアプリ『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000 4訂版』 (物書堂またはImagineer・600円)
このほかにTOEIC-IPテスト受験料 (予価3,400円=受験料免除者以外の人) またはTOEIC公開テスト受験料 (5,725円) が必要になります。また、スマートフォンを使っていない人は別途 『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000 4訂版』 (旺文社 ISBN:978-4010902189) を購入する必要があります。

参考書

○電子辞書

シャープBrain PW-SB5 (オープン価格・価格.com最安値 [2018年1月31日現在] ¥31,800) またはCASIO AZ-Z9800 (税込¥33,000)。

後者は学内の紀伊國屋ブックセンターでのみ取り扱っているので注意すること。

どちらのモデルにも英米文学科が推薦する『OXFORD現代英英辞典 第9版』 (OALD9) 『リーダーズ英和辞典 第3版』 (研究社) が収録されているほか、『リーダーズ・プラス』 『新和英大辞典 第五版』 『ジーニアス英和大辞典』 など、大学で英語を学ぶために必須の辞書が多く含まれています。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知します。

科目名	TOEIC P. Advanced <1>		
教員名	遠藤 智子		
科目ナンバー	1701425040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要			
<p>TOEICの得点を向上させるために、英語教育研究の最新の知見にもとづいて、個々の学習者にとって効率のよい学習法を探ります。新TOEIC(R) テスト対策のeラーニング教材として定評のある朝日出版社のu-CATなどを使用して、語学学習においてもっとも大切な自学自修の習慣を身につけるとともに、個人指導（チュートリアル）を通じて、自らの学習をふりかえり、TOEICの得点向上のための具体的な方策を教員とともに考えます。</p>			

到達目標			
<p>長期的には、eラーニング教材を利用して今後独学でTOEIC対策を行えるだけの知識と、自分の資質や性向についての客観的把握を得ることです。これによってDP2を実現します。 当該学期においては、TOEIC公開テストにおいて、630点あるいはそれ以上をとることを目指します。すでに630点以上を取っている人は、そこからさらに100点以上の得点向上を狙ってください。</p>			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)	
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	対面授業#1：オリエンテーション u-CATの使いかた・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』語彙力診断テスト受講のしかたなど		
	<ul style="list-style-type: none"> ・半年後のTOEICの目標点数や卒業までの自分のTOEICおよび英語の学習計画を紙に書いておく ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」901-930を覚える 	60	
第2回	対面授業#2：リーディングパートの時間配分・解く順番 公式問題集の例題を解いてみる		
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」931-960を覚える 	120	
第3回	チュートリアル#1 「診断テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる		
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「診断テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」961-990を覚える 	120	

第4回	対面授業#3：語彙力を増やす 英英辞典の活用の仕方を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank C」 991-1020を覚える 	120
第5回	チュートリアル#2 「診断テスト」「ホームワーク」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」(第一回)を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank C」 1021-1050を覚える 	120
第6回	対面授業#4：ながら聞きの効用 英語圏放送局が提供している英語学習サイトについて調べる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank C」 1051-1080を覚える 	120
第7回	チュートリアル#3 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第一回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank C」 1081-1110を覚える 	120
第8回	対面授業#5：文法語法熟語問題の得点を上げる インターネットでパート5・パート6対策として挙げられていることを検索し、自分にとって役立つような知識をまとめる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank C」 1111-1140を覚える 	120
第9回	チュートリアル#4 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」(第二回)を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank C」 1141-1170を覚える 	120

第10回	対面授業#6：シャドウイング 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いてシャドウイングを行ってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1171-1200を覚える 	120
第11回	チュートリアル#5 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第二回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1201-1230を覚える 	120
第12回	対面授業#7：多読の効用 インターネットの多読訓練サイトを用いて多読の習慣をつけるにはどうしたらよいか考える	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1231-1260を覚える 	120
第13回	チュートリアル#6 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第三回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1261-1290を覚える 	120
第14回	チュートリアル#7 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」「第三回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第三回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1291-1320を覚える 	120
第15回	TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テスト	
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テストに備えて総仕上げを行う ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1331-1350を覚える 	120

授業の方法

対面授業とチュートリアルを隔週で実施します。対面授業週には、TOEICの得点を向上させるための様々な課題を解いたり、インターネットで無料提供されているTOEIC学習教材などの検討を行ったりします。チュートリアル週には、u-CATの指定範囲を自宅あるいは大学で解いてください。チュートリアル対象者は教室で待機し、教員とともに自らの学習状況を振り返り、今後の対策や指針を考えます。

成績評価の方法

宿題 30%

授業への積極的な参加 20%

u-CAT教材の学習状況およびスコア 30%

TOEIC-IPテスト (TOEIC公開テスト) のスコア 20%

学習の成果を測るために、学期末に学内で実施される予定のTOEIC-IPテスト (二年生など受験料免除者以外の人は受験料3,400円が必要)か、学期末に実施されるTOEIC公開テストを必ず受験してください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識/先修科目/関連科目

TOEIC Preparation Intermediateをすでに履修しているか、すでにTOEIC-IPテストまたはTOEIC 公開テストにおいて550点前後を取得していることが望ましいです。

同一学期に科目名に'TOEIC Preparation'が入った他の科目と同時に履修することはできません。

テキスト

『u-CAT : eラーニングによる新テスト対応TOEIC®[®] LISTENING AND READING TEST』 (朝日出版社 ISBN: 978-4255156095) [昨年度から新テスト形式のTOEICに対応した新テキストになっていますので、2016年度以前に履修した人は買い直す必要があります]

このほかに

(1) iOSまたはAndroidアプリ『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (物書堂またはImagineer・600円) の購入

(2) TOEIC-IPテスト受験料 (予備3,400円=受験料免除者以外の人) またはTOEIC公開テスト受験料 (5,725円)

が必要になります。スマートフォンを使っていない人は別途 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (旺文社 ISBN:978-4010902189) を購入する必要があります。

参考書

初回の授業で詳しく説明します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知します。

科目名	TOEIC P. Advanced <2>		
教員名	佐々木 大介		
科目ナンバー	1701425040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

TOEICの得点を向上させるために、英語教育研究の最新の知見にもとづいて、個々の学習者にとって効率のよい学習法を探ります。新TOEIC(R) テスト対策のeラーニング教材として定評のある朝日出版社のu-CATなどを使用して、語学学習においてもっとも大切な自学自修の習慣を身につけるとともに、個人指導（チュートリアル）を通じて、自らの学習をふりかえり、TOEICの得点向上のための具体的な方策を教員とともに考えます。

到達目標

長期的には、eラーニング教材を利用して今後独学でTOEIC対策を行えるだけの知識と、自分の資質や性向についての客観的把握を得ることです。これによってDP2を実現します。当該学期においては、TOEIC公開テストにおいて、630点あるいはそれ以上をとることを目指します。すでに630点以上を取っている人は、そこからさらに100点以上の得点向上を狙ってください。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	対面授業#1：オリエンテーション u-CATの使いかた・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』語彙力診断テスト受講のしかたなど	
	<ul style="list-style-type: none"> 半年後のTOEICの目標点数や卒業までの自分のTOEICおよび英語の学習計画を紙に書いておく 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」901-930を覚える 	60
第2回	対面授業#2：リーディングパートの時間配分・解く順番 公式問題集の例題を解いてみる	
	<ul style="list-style-type: none"> クラス独自の課題を解く 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」931-960を覚える 	120
第3回	チュートリアル#1 「診断テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> u-CAT「診断テスト」を受講 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」961-990を覚える 	120

第4回	対面授業#3：語彙力を増やす 英英辞典の活用の仕方を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 991-1020を覚える 	120
第5回	チュートリアル#2 「診断テスト」「ホームワーク」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第一回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1021-1050を覚える 	120
第6回	対面授業#4：ながら聞きの効用 英語圏放送局が提供している英語学習サイトについて調べる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1051-1080を覚える 	120
第7回	チュートリアル#3 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第一回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1081-1110を覚える 	120
第8回	対面授業#5：文法語法熟語問題の得点を上げる インターネットでパート5・パート6対策として挙げられていることを検索し、自分にとって役立つような知識をまとめる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1111-1140を覚える 	120
第9回	チュートリアル#4 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第二回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1141-1170を覚える 	120

第10回	対面授業#6：シャドウイング 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いてシャドウイングを行ってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1171-1200を覚える 	120
第11回	チュートリアル#5 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第二回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1201-1230を覚える 	120
第12回	対面授業#7：多読の効用 インターネットの多読訓練サイトを用いて多読の習慣をつけるにはどうしたらよいか考える	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1231-1260を覚える 	120
第13回	チュートリアル#6 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第三回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1261-1290を覚える 	120
第14回	チュートリアル#7 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」「第三回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第三回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1291-1320を覚える 	120
第15回	TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テスト	
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テストに備えて総仕上げを行う ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1331-1350を覚える 	120

授業の方法

対面授業とチュートリアルを隔週で実施します。対面授業週には、TOEICの得点を向上させるための様々な課題を解いたり、インターネットで無料提供されているTOEIC学習教材などの検討を行ったりします。チュートリアル週には、u-CATの指定範囲を自宅あるいは大学で解いてください。チュートリアル対象者は教室で待機し、教員とともに自らの学習状況を振り返り、今後の対策や指針を考えます。

成績評価の方法

宿題 30%

授業への積極的な参加 20%

u-CAT教材の学習状況およびスコア 30%

TOEIC-IPテスト (TOEIC公開テスト) のスコア 20%

学習の成果を測るために、学期末に学内で実施される予定のTOEIC-IPテスト (二年生など受験料免除者以外の方は受験料3,400円が必要)か、学期末に実施されるTOEIC公開テストを必ず受験してください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識/先修科目/関連科目

TOEIC Preparation Intermediateをすでに履修しているか、すでにTOEIC-IPテストまたはTOEIC 公開テストにおいて550点前後を取得していることが望ましいです。

同一学期に科目名に'TOEIC Preparation'が入った他の科目と同時に履修することはできません。

テキスト

『u-CAT : eラーニングによる新テスト対応TOEIC®[®] LISTENING AND READING TEST』 (朝日出版社 ISBN: 978-4255156095) [昨年度から新テスト形式のTOEICに対応した新テキストになっていますので、2016年度以前に履修した人は買い直す必要があります]

このほかに

(1) iOSまたはAndroidアプリ『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (物書堂またはImagineer・600円) の購入

(2) TOEIC-IPテスト受験料 (予備3,400円=受験料免除者以外の人) またはTOEIC公開テスト受験料 (5,725円)

が必要になります。スマートフォンを使っていない人は別途 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (旺文社 ISBN:978-4010902189) を購入する必要があります。

参考書

初回の授業で詳しく説明します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知します。

科目名	TOEIC P. Advanced <3>		
教員名	豊島 純子		
科目ナンバー	1701425040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要			
<p>TOEICの得点を向上させるために、英語教育研究の最新の知見にもとづいて、個々の学習者にとって効率のよい学習法を探ります。新TOEIC(R) テスト対策のeラーニング教材として定評のある朝日出版社のu-CATなどを使用して、語学学習においてもっとも大切な自学自修の習慣を身につけるとともに、個人指導(チュートリアル)を通じて、自らの学習をふりかえり、TOEICの得点向上のための具体的な方策を教員とともに考えます。</p>			

到達目標			
<p>長期的には、eラーニング教材を利用して今後独学でTOEIC対策を行えるだけの知識と、自分の資質や性向についての客観的把握を得ることです。これによってDP2を実現します。 当該学期においては、TOEIC公開テストにおいて、630点あるいはそれ以上をとることを目指します。すでに630点以上を取っている人は、そこからさらに100点以上の得点向上を狙ってください。</p>			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)	
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	対面授業#1：オリエンテーション u-CATの使いかた・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』語彙力診断テスト受講のしかたなど		
	<ul style="list-style-type: none"> ・半年後のTOEICの目標点数や卒業までの自分のTOEICおよび英語の学習計画を紙に書いておく ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」901-930を覚える 	60	
第2回	対面授業#2：リーディングパートの時間配分・解く順番 公式問題集の例題を解いてみる		
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」931-960を覚える 	120	
第3回	チュートリアル#1 「診断テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる		
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「診断テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」961-990を覚える 	120	

第4回	対面授業#3：語彙力を増やす 英英辞典の活用の仕方を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」991-1020を覚える 	120
第5回	チュートリアル#2 「診断テスト」「ホームワーク」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第一回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1021-1050を覚える 	120
第6回	対面授業#4：ながら聞きの効用 英語圏放送局が提供している英語学習サイトについて調べる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1051-1080を覚える 	120
第7回	チュートリアル#3 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第一回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1081-1110を覚える 	120
第8回	対面授業#5：文法語法熟語問題の得点を上げる インターネットでパート5・パート6対策として挙げられていることを検索し、自分にとって役立つような知識をまとめる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1111-1140を覚える 	120
第9回	チュートリアル#4 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第二回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1141-1170を覚える 	120

第10回	対面授業#6：シャドウイング 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いてシャドウイングを行ってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1171-1200を覚える 	120
第11回	チュートリアル#5 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第二回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1201-1230を覚える 	120
第12回	対面授業#7：多読の効用 インターネットの多読訓練サイトを用いて多読の習慣をつけるにはどうしたらよいか考える	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1231-1260を覚える 	120
第13回	チュートリアル#6 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第三回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1261-1290を覚える 	120
第14回	チュートリアル#7 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」「第三回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第三回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1291-1320を覚える 	120
第15回	TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テスト	
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テストに備えて総仕上げを行う ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1331-1350を覚える 	120

授業の方法

対面授業とチュートリアルを隔週で実施します。対面授業週には、TOEICの得点を向上させるための様々な課題を解いたり、インターネットで無料提供されているTOEIC学習教材などの検討を行ったりします。チュートリアル週には、u-CATの指定範囲を自宅あるいは大学で解いてください。チュートリアル対象者は教室で待機し、教員とともに自らの学習状況を振り返り、今後の対策や指針を考えます。

成績評価の方法

宿題 30%

授業への積極的な参加 20%

u-CAT教材の学習状況およびスコア 30%

TOEIC-IPテスト (TOEIC公開テスト) のスコア 20%

学習の成果を測るために、学期末に学内で実施される予定のTOEIC-IPテスト (二年生など受験料免除者以外の方は受験料3,400円が必要)か、学期末に実施されるTOEIC公開テストを必ず受験してください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識 / 先修科目 / 関連科目

TOEIC Preparation Intermediateをすでに履修しているか、すでにTOEIC-IPテストまたはTOEIC 公開テストにおいて550点前後を取得していることが望ましいです。

同一学期に科目名に 'TOEIC Preparation' が入った他の科目と同時に履修することはできません。

テキスト

『u-CAT : eラーニングによる新テスト対応TOEIC®[®] LISTENING AND READING TEST』 (朝日出版社 ISBN: 978-4255156095) [昨年度から新テスト形式のTOEICに対応した新テキストになっていますので、2016年度以前に履修した人は買い直す必要があります]

このほかに

(1) iOSまたはAndroidアプリ『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (物書堂またはImagineer・600円) の購入

(2) TOEIC-IPテスト受験料 (予備3,400円=受験料免除者以外の人) またはTOEIC公開テスト受験料 (5,725円)

が必要になります。スマートフォンを使っていない人は別途 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (旺文社 ISBN:978-4010902189) を購入する必要があります。

参考書

初回の授業で詳しく説明します。

質問・相談方法等 (オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知します。

科目名	TOEIC P. Advanced <4>		
教員名	日比野 啓		
科目ナンバー	1701425040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要			
<p>TOEICの得点を向上させるために、英語教育研究の最新の知見にもとづいて、個々の学習者にとって効率のよい学習法を探ります。新TOEIC(R) テスト対策のeラーニング教材として定評のある朝日出版社のu-CATなどを使用して、語学学習においてもっとも大切な自学自修の習慣を身につけるとともに、個人指導(チュートリアル)を通じて、自らの学習をふりかえり、TOEICの得点向上のための具体的な方策を教員とともに考えます。</p>			

到達目標			
<p>長期的には、eラーニング教材を利用して今後独学でTOEIC対策を行えるだけの知識と、自分の資質や性向についての客観的把握を得ることです。これによってDP2を実現します。 当該学期においては、TOEIC公開テストにおいて、630点あるいはそれ以上をとることを目指します。すでに630点以上を取っている人は、そこからさらに100点以上の得点向上を狙ってください。</p>			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)	
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	対面授業#1：オリエンテーション u-CATの使いかた・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』語彙力診断テスト受講のしかたなど		
	<ul style="list-style-type: none"> 半年後のTOEICの目標点数や卒業までの自分のTOEICおよび英語の学習計画を紙に書いておく 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」901-930を覚える 	60	
第2回	対面授業#2：リーディングパートの時間配分・解く順番 公式問題集の例題を解いてみる		
	<ul style="list-style-type: none"> クラス独自の課題を解く 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」931-960を覚える 	120	
第3回	チュートリアル#1 「診断テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる		
	<ul style="list-style-type: none"> u-CAT「診断テスト」を受講 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」961-990を覚える 	120	

第4回	対面授業#3：語彙力を増やす 英英辞典の活用の仕方を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 991-1020を覚える 	120
第5回	チュートリアル#2 「診断テスト」「ホームワーク」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第一回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1021-1050を覚える 	120
第6回	対面授業#4：ながら聞きの効用 英語圏放送局が提供している英語学習サイトについて調べる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1051-1080を覚える 	120
第7回	チュートリアル#3 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第一回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1081-1110を覚える 	120
第8回	対面授業#5：文法語法熟語問題の得点を上げる インターネットでパート5・パート6対策として挙げられていることを検索し、自分にとって役立つような知識をまとめる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1111-1140を覚える 	120
第9回	チュートリアル#4 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第二回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1141-1170を覚える 	120

第10回	<p>対面授業#6：シャドウイング 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いてシャドウイングを行ってみる</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank C」 1171-1200を覚える 	120
第11回	<p>チュートリアル#5 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第二回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank C」 1201-1230を覚える 	120
第12回	<p>対面授業#7：多読の効用 インターネットの多読訓練サイトを用いて多読の習慣をつけるにはどうしたらよいか考える</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank C」 1231-1260を覚える 	120
第13回	<p>チュートリアル#6 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第三回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank C」 1261-1290を覚える 	120
第14回	<p>チュートリアル#7 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」「第三回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第三回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank C」 1291-1320を覚える 	120
第15回	<p>TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テスト</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テストに備えて総仕上げを行う ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』 「頻度 Rank C」 1331-1350を覚える 	120

授業の方法

対面授業とチュートリアルを隔週で実施します。対面授業週には、TOEICの得点を向上させるための様々な課題を解いたり、インターネットで無料提供されているTOEIC学習教材などの検討を行ったりします。チュートリアル週には、u-CATの指定範囲を自宅あるいは大学で解いてください。チュートリアル対象者は教室で待機し、教員とともに自らの学習状況を振り返り、今後の対策や指針を考えます。

成績評価の方法

宿題 30%

授業への積極的な参加 20%

u-CAT教材の学習状況およびスコア 30%

TOEIC-IPテスト (TOEIC公開テスト) のスコア 20%

学習の成果を測るために、学期末に学内で実施される予定のTOEIC-IPテスト (二年生など受験料免除者以外の方は受験料3,400円が必要)か、学期末に実施されるTOEIC公開テストを必ず受験してください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識 / 先修科目 / 関連科目

TOEIC Preparation Intermediateをすでに履修しているか、すでにTOEIC-IPテストまたはTOEIC 公開テストにおいて550点前後を取得していることが望ましいです。

同一学期に科目名に 'TOEIC Preparation' が入った他の科目と同時に履修することはできません。

テキスト

『u-CAT : eラーニングによる新テスト対応TOEIC®[®] LISTENING AND READING TEST』 (朝日出版社 ISBN: 978-4255156095) [昨年度から新テスト形式のTOEICに対応した新テキストになっていますので、2016年度以前に履修した人は買い直す必要があります]

このほかに

(1) iOSまたはAndroidアプリ『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (物書堂またはImagineer・600円) の購入

(2) TOEIC-IPテスト受験料 (予備3,400円=受験料免除者以外の人) またはTOEIC公開テスト受験料 (5,725円)

が必要になります。スマートフォンを使っていない人は別途 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (旺文社 ISBN:978-4010902189) を購入する必要があります。

参考書

初回の授業で詳しく説明します。

質問・相談方法等 (オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知します。

科目名	TOEIC P. Advanced <5>		
教員名	小林 美文		
科目ナンバー	1801425040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

TOEICの得点を向上させるために、英語教育研究の最新の知見にもとづいて、個々の学習者にとって効率のよい学習法を探ります。新TOEIC(R) テスト対策のeラーニング教材として定評のある朝日出版社のu-CATなどを使用して、語学学習においてもっとも大切な自学自修の習慣を身につけるとともに、個人指導（チュートリアル）を通じて、自らの学習をふりかえり、TOEICの得点向上のための具体的な方策を教員とともに考えます。

到達目標

長期的には、eラーニング教材を利用して今後独学でTOEIC対策を行えるだけの知識と、自分の資質や性向についての客観的把握を得ることです。これによってDP2を実現します。当該学期においては、TOEIC公開テストにおいて、630点あるいはそれ以上をとることを目指します。すでに630点以上を取っている人は、そこからさらに100点以上の得点向上を狙ってください。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	授業の計画・内容 準備学修(予習・復習等)	
	対面授業#1：オリエンテーション u-CATの使いかた・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』語彙力診断テスト受講のしかたなど	
	<ul style="list-style-type: none"> 半年後のTOEICの目標点数や卒業までの自分のTOEICおよび英語の学習計画を紙に書いておく 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」901-930を覚える 	60
第2回	対面授業#2：リーディングパートの時間配分・解く順番 公式問題集の例題を解いてみる	
	<ul style="list-style-type: none"> クラス独自の課題を解く 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」931-960を覚える 	120
第3回	チュートリアル#1 「診断テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> u-CAT「診断テスト」を受講 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」961-990を覚える 	120

第4回	対面授業#3：語彙力を増やす 英英辞典の活用の仕方を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」991-1020を覚える 	120
第5回	チュートリアル#2 「診断テスト」「ホームワーク」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第一回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1021-1050を覚える 	120
第6回	対面授業#4：ながら聞きの効用 英語圏放送局が提供している英語学習サイトについて調べる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1051-1080を覚える 	120
第7回	チュートリアル#3 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第一回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1081-1110を覚える 	120
第8回	対面授業#5：文法語法熟語問題の得点を上げる インターネットでパート5・パート6対策として挙げられていることを検索し、自分にとって役立つような知識をまとめる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1111-1140を覚える 	120
第9回	チュートリアル#4 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第二回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」1141-1170を覚える 	120

第10回	対面授業#6：シャドウイング 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いてシャドウイングを行ってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1171-1200を覚える 	120
第11回	チュートリアル#5 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第二回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1201-1230を覚える 	120
第12回	対面授業#7：多読の効用 インターネットの多読訓練サイトを用いて多読の習慣をつけるにはどうしたらよいか考える	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1231-1260を覚える 	120
第13回	チュートリアル#6 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第三回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1261-1290を覚える 	120
第14回	チュートリアル#7 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」「第三回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第三回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1291-1320を覚える 	120
第15回	TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テスト	
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テストに備えて総仕上げを行う ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1331-1350を覚える 	120

授業の方法

対面授業とチュートリアルを隔週で実施します。対面授業週には、TOEICの得点を向上させるための様々な課題を解いたり、インターネットで無料提供されているTOEIC学習教材などの検討を行ったりします。チュートリアル週には、u-CATの指定範囲を自宅あるいは大学で解いてください。チュートリアル対象者は教室で待機し、教員とともに自らの学習状況を振り返り、今後の対策や指針を考えます。

成績評価の方法

宿題 30%

授業への積極的な参加 20%

u-CAT教材の学習状況およびスコア 30%

TOEIC-IPテスト (TOEIC公開テスト) のスコア 20%

学習の成果を測るために、学期末に学内で実施される予定のTOEIC-IPテスト (二年生など受験料免除者以外の方は受験料3,400円が必要)か、学期末に実施されるTOEIC公開テストを必ず受験してください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識/先修科目/関連科目

TOEIC Preparation Intermediateをすでに履修しているか、すでにTOEIC-IPテストまたはTOEIC 公開テストにおいて550点前後を取得していることが望ましいです。

同一学期に科目名に'TOEIC Preparation'が入った他の科目と同時に履修することはできません。

テキスト

『u-CAT : eラーニングによる新テスト対応TOEIC®[®] LISTENING AND READING TEST』 (朝日出版社 ISBN: 978-4255156095) [昨年度から新テスト形式のTOEICに対応した新テキストになっていますので、2016年度以前に履修した人は買い直す必要があります]

このほかに

(1) iOSまたはAndroidアプリ『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (物書堂またはImagineer・600円) の購入

(2) TOEIC-IPテスト受験料 (予備3,400円=受験料免除者以外の人) またはTOEIC公開テスト受験料 (5,725円)

が必要になります。スマートフォンを使っていない人は別途 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (旺文社 ISBN:978-4010902189) を購入する必要があります。

参考書

初回の授業で詳しく説明します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知します。

科目名	TOEIC P. Advanced <6>		
教員名	佐々木 大介		
科目ナンバー	1801425040	単位数	1
配当年次	1	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要			
<p>TOEICの得点を向上させるために、英語教育研究の最新の知見にもとづいて、個々の学習者にとって効率のよい学習法を探ります。新TOEIC(R) テスト対策のeラーニング教材として定評のある朝日出版社のu-CATなどを使用して、語学学習においてもっとも大切な自学自修の習慣を身につけるとともに、個人指導（チュートリアル）を通じて、自らの学習をふりかえり、TOEICの得点向上のための具体的な方策を教員とともに考えます。</p>			

到達目標			
<p>長期的には、eラーニング教材を利用して今後独学でTOEIC対策を行えるだけの知識と、自分の資質や性向についての客観的把握を得ることです。これによってDP2を実現します。 当該学期においては、TOEIC公開テストにおいて、630点あるいはそれ以上をとることを目指します。すでに630点以上を取っている人は、そこからさらに100点以上の得点向上を狙ってください。</p>			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)	
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	対面授業#1：オリエンテーション u-CATの使いかた・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』語彙力診断テスト受講のしかたなど		
	<ul style="list-style-type: none"> ・半年後のTOEICの目標点数や卒業までの自分のTOEICおよび英語の学習計画を紙に書いておく ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」901-930を覚える 	60	
第2回	対面授業#2：リーディングパートの時間配分・解く順番 公式問題集の例題を解いてみる		
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」931-960を覚える 	120	
第3回	チュートリアル#1 「診断テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる		
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「診断テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』「頻度 Rank C」961-990を覚える 	120	

第4回	対面授業#3：語彙力を増やす 英英辞典の活用の仕方を学ぶ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank C」991-1020を覚える 	120
第5回	チュートリアル#2 「診断テスト」「ホームワーク」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第一回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank C」1021-1050を覚える 	120
第6回	対面授業#4：ながら聞きの効用 英語圏放送局が提供している英語学習サイトについて調べる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank C」1051-1080を覚える 	120
第7回	チュートリアル#3 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第一回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank C」1081-1110を覚える 	120
第8回	対面授業#5：文法語法熟語問題の得点を上げる インターネットでパート5・パート6対策として挙げられていることを検索し、自分にとって役立つような知識をまとめる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank C」1111-1140を覚える 	120
第9回	チュートリアル#4 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第二回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスター2000』「頻度 Rank C」1141-1170を覚える 	120

第10回	対面授業#6：シャドウイング 英語圏放送局が提供している英語学習サイトを用いてシャドウイングを行ってみる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1171-1200を覚える 	120
第11回	チュートリアル#5 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第二回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1201-1230を覚える 	120
第12回	対面授業#7：多読の効用 インターネットの多読訓練サイトを用いて多読の習慣をつけるにはどうしたらよいか考える	
	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス独自の課題を解く ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1231-1260を覚える 	120
第13回	チュートリアル#6 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「ホームワーク」（第三回）を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1261-1290を覚える 	120
第14回	チュートリアル#7 「診断テスト」「ホームワーク」「第一回模擬テスト」「第二回模擬テスト」「第三回模擬テスト」の結果をもとに自らの学習をふりかえる	
	<ul style="list-style-type: none"> ・u-CAT「第三回模擬テスト」を受講 ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1291-1320を覚える 	120
第15回	TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テスト	
	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC-IPテスト/TOEIC公開テストに備えて総仕上げを行う ・『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000』 「頻度 Rank C」 1331-1350を覚える 	120

授業の方法

対面授業とチュートリアルを隔週で実施します。対面授業週には、TOEICの得点を向上させるための様々な課題を解いたり、インターネットで無料提供されているTOEIC学習教材などの検討を行ったりします。チュートリアル週には、u-CATの指定範囲を自宅あるいは大学で解いてください。チュートリアル対象者は教室で待機し、教員とともに自らの学習状況を振り返り、今後の対策や指針を考えます。

成績評価の方法

宿題 30%

授業への積極的な参加 20%

u-CAT教材の学習状況およびスコア 30%

TOEIC-IPテスト (TOEIC公開テスト) のスコア 20%

学習の成果を測るために、学期末に学内で実施される予定のTOEIC-IPテスト (二年生など受験料免除者以外の人は受験料3,400円が必要)か、学期末に実施されるTOEIC公開テストを必ず受験してください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準 (学則第39条) に準拠する。 / Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識 / 先修科目 / 関連科目

TOEIC Preparation Intermediateをすでに履修しているか、すでにTOEIC-IPテストまたはTOEIC 公開テストにおいて550点前後を取得していることが望ましいです。

同一学期に科目名に 'TOEIC Preparation' が入った他の科目と同時に履修することはできません。

テキスト

『u-CAT : eラーニングによる新テスト対応TOEIC®[®] LISTENING AND READING TEST』 (朝日出版社 ISBN: 978-4255156095) [昨年度から新テスト形式のTOEICに対応した新テキストになっていますので、2016年度以前に履修した人は買い直す必要があります]

このほかに

(1) iOSまたはAndroidアプリ『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (物書堂またはImagineer・600円) の購入

(2) TOEIC-IPテスト受験料 (予備3,400円=受験料免除者以外の人) またはTOEIC公開テスト受験料 (5,725円)

が必要になります。スマートフォンを使っていない人は別途 『新TOEICテスト英単語・熟語マスタリー2000 4訂版』 (旺文社 ISBN:978-4010902189) を購入する必要があります。

参考書

初回の授業で詳しく説明します。

質問・相談方法等 (オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知します。

科目名	Presentation Skills		
教員名	ハンブリ マーク		
科目ナンバー	1301425110	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

The purpose of this course is to help students gain knowledge and skills necessary for giving presentations in formal situations like academic conferences and business meetings. Students will learn important expressions used in formal presentations, as well as non-verbal communication such as gestures, eye contact and posture.

到達目標

Students can understand and use common words/phrases frequently used in formal spoken interactions.
 Students can interact with others appropriately and effectively in formal settings.
 Students can make presentations and participate as active audience members in presentations given by fellow students.

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	Introduction	
	Orientation and getting to know each other	60 mins
第2回	Unit 1 - What are the options?	
	DVD episode 1. Textbook pages 1-5	60 mins
第3回	Unit 1 - What are the options?	
	Textbook pages 6-11. Prepare and option presentation	60 mins

第4回	Unit 2 - The Option Presentation	
	Half of the class will do Option presentations	60 mins
第5回	Unit 2 - The Option Presentation	
	Remainder of the class will do Option presentations	60 mins
第6回	Unit 3 - Job Hunting	
	DVD episode 2. Textbook pages 15-19	60 mins
第7回	Unit 3 - Job Hunting	
	Textbook pages 21-25. Prepare a proposal presentation	60 mins
第8回	Unit 4 - The Proposal Presentation	
	Half of the class will do proposal presentations	60 mins
第9回	Unit 4 - The Proposal Presentation	
	Remainder of the class will do proposal presentations	60 mins

第10回	Poster Presentation Practice	
	Job Fair	60 mins
第11回	Unit 5 - Have I got your interest?	
	DVD episode 3. Textbook pages 29-33	60 mins
第12回	Unit 5 - Have I got your interest?	
	Textbook pages 35-39. Prepare a sales presentation	60 mins
第13回	Unit 6 - The Sales Presentation	
	Half of the class will do sales presentations	60 mins
第14回	Unit 6 - The Sales Presentation	
	Remainder of the class will do sales presentations	60 mins
第15回	Review	
	Review	60 mins

授業の方法

Students will watch segments from the course DVD and do exercises in the textbook to practice presentation skills. There will be listening practice using the course CD, as well as pair and group discussions based on the material in the textbook. Students will do a variety of presentations on various academic and business themes.

成績評価の方法

Unit 2 Presentation (25%)
Unit 4 Presentation (25%)
Unit 6 Presentation (25%)
Class work and attitude (25%)

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

N/A

テキスト

Charles LeBeau : Speaking of Speech Level 2 (Macmillan) ISBN:978-1-7863-2076-6 ¥2,600

参考書

Handouts will be provided by the teacher.

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

Questions are accepted immediately before and after class.

科目名	Discussion Skills		
教員名	エヴァン ピーター ダニエル		
科目ナンバー	1201425120	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

The purpose of this course is to develop your discussion skills, and to help you become a more effective communicator in a group, while speaking English. To achieve this, you will study formal and informal discussion strategies across a range of registers and genres. You will also learn how to conduct meetings as a group chairperson, and develop the qualities of leadership required for such a role. In the first semester, we will focus on informal contexts for discussion and less formal language.

到達目標

Upon completion of this course, you should be able to:

- Use a variety of conversation strategies associated with discussion
- Actively and effectively participate in group discussions
- Act as a chairperson for group discussions

(This class follows diploma policies 2, 3 and 5).

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)	
第1回	Introduction		
	Research and prepare discussion topics.		60mins.
第2回	Discussion Topic 1		
	Research and prepare discussion topics.		60mins.
第3回	Discussion Topic 2		
	Research and prepare discussion topics.		60mins.

第4回	Discussion Topic 3	
	Research and prepare discussion topics.	60mins.
第5回	Discussion Topic 4	
	Research and prepare discussion topics.	60mins.
第6回	Discussion Topic 5	
	Research and prepare discussion topics.	60mins.
第7回	Discussion Topic 6	
	Research and prepare discussion topics.	60mins.
第8回	Discussion Topic 7	
	Research and prepare discussion topics.	60mins.
第9回	Discussion Topic 8	
	Research and prepare discussion topics.	60mins.

第10回	Discussion Topic 9	
	Research and prepare discussion topics.	60mins.
第11回	Discussion Topic 10	
	Research and prepare discussion topics.	60mins.
第12回	Discussion Topic 11	
	Research and prepare discussion topics.	60mins.
第13回	Discussion Topic 12	
	Research and prepare discussion topics.	60mins.
第14回	Discussion Topic 13	
	Research and prepare discussion topics.	60mins.
第15回	Discussion Topic 14	
	Research and prepare discussion topics.	60mins.

授業の方法

You are expected to take an active role in group discussions as a participant and also as a chairperson. Group discussions will be on a variety of issues and topics, and you will learn how to research and prepare materials for discussion. You will also be encouraged to develop critical thinking skills through reflection and problem-solving tasks.

成績評価の方法

The final grade will be based on the following criteria:
1) attendance 20%
2) classroom participation (including discussions) 40%
2) discussion leadership project (including research) 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39. Grading is also based on how well you have accomplished the objectives described above, such as participating in and leading group discussions.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

N/A

テキスト

There is no textbook for this course.

参考書

N/A

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	Writing Skills		
教員名	ギャラガー クリストファー		
科目ナンバー	1201425130	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

The purpose of this course is to develop your writing skills and to help you become a more effective communicator in written English. The emphasis is initially on how to move beyond writing sentences, to producing longer texts. We will build upon these opportunities to improve not just your vocabulary but so you develop a better understanding of the difference between spoken and written English, tone and style.

到達目標

Upon completion of this course, you should be able to:

- understand how to write a cohesive paragraph, and even longer texts, such as an essay.
- understand how to use examples and more clearly develop your ideas.
- understand the difference between different kinds of essays and texts.
- have some understanding of how to paraphrase and use citations.
- Write a short essay on one of the themes we will use in class.

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	Introductions + What is a paragraph?	
	Write, revise and review your texts.	60
第2回	What's the difference between spoken and written language? The vocabulary shift, voice, style, and register.	
	Write, revise and review your texts.	90
第3回	Argumentation - persuasive writing - expressing opinions in a paragraph	
	Write, revise and review your texts.	90

第4回	This may work! Problem –solution texts	
	Write, revise and review your texts.	90
第5回	Writing a cause and effect paragraph [1]	
	Write, revise and review your texts.	90
第6回	Writing a cause and effect paragraph [2]	
	Write, revise and review your texts.	90
第7回	Review (of paragraph writing and text genres)	
	Write, revise and review your texts.	90
第8回	Introduction to Essay Writing – creating an outline Theme: Who am I?	
	Write, revise and review your texts.	90
第9回	More on Essay Writing – descriptive writing. Theme: A beautiful place/tourism	
	Write, revise and review your texts.	90

第10回	More on Essay Writing – persuasive writing. Theme: Social Issues in Japan	
	Write, revise and review your texts.	90
第11回	More on Essay Writing – persuasive writing [2]. 2nd draft. Theme: Social Issues in Japan	
	Write, revise and review your texts.	90
第12回	More on Essay Writing – comparison/contrast essays Theme: Open	
	Write, revise and review your texts.	90
第13回	More on Essay Writing – comparison/contrast [2] 2nd draft Theme: Open	
	Write, revise and review your texts.	90
第14回	More on Essay Writing – classification essays Theme: Events and festivals	
	Write, revise and review your texts.	90
第15回	Final review	
	Final review of all writing tasks and preparation for submission.	90

授業の方法

You will be presented with ample models of writing, and will be expected to engage in active discussion and analysis of these texts, and peer review of each other's writing. You must also participate in pair and group activities. The class will be conducted in English. A more detailed lesson plan will be provided by the instructor at the beginning of the course. The lesson plan may be modified depending on students' actual progress. Improving your written English requires regular study outside the class, and you will be expected to review the previous lesson, complete homework, and prepare for the next lesson as part of your outside preparatory work.

成績評価の方法

The final grade will be based on the following criteria:

- 1) classroom participation 30%
- 2) quizzes, homework assignments, oral presentations 30%
- 3) Written assignments such as paragraphs & essays 40%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

Grading is also based on how well you have accomplished the objectives described above, such as understanding the main ideas of how to write cohesive texts, paragraphs, and short essays.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

N/A

テキスト

No text used for this course.

参考書

Relevant resources, handouts, resource materials or books will be introduced as needed.

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

Questions are accepted immediately before and after class.

科目名	多読で学ぶ英語と文化 <1>		
教員名	山田 崇人		
科目ナンバー	1201426010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

このクラスではスマートフォン、タブレットPCまたはパソコンを使って多読を行います。

長い英語の文章を目の前にして気後れしたことはありませんか？ 辞書を引きながら一語一語訳していて疲れてしまったことはありませんか？ この授業は、そういったことを解消するために、多読によって英語の総合的な力を身につけるものです。

Freshers' Englishで手ほどきを受けた多読を、さらに本格的に追及しましょう。それによって英語を、日本語に訳すのではなく、英語のまま読んで理解できるようになることを目指しましょう。そうすれば英語の読み方、英語に対する意識が劇的に変わります。いつの間にか英語を読んだり聞いたりするのが、苦ではないどころか、楽しみになっていることに気づくでしょう。

すべての学生に一度は体験してほしい学習法ですが、英語を楽しんで読めるようになりたい人、翻訳で読んだことのある本を原書でも読んでみたいという人、話題になっているがまだ翻訳の出ている本をいち早く読んでみたいという人には特にオススメです。

到達目標

DP2（課題の発見と解決）、3（他者との協働）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とする。

1. 多読という学習法を十分に理解し、効果的に実践することができる。
2. 自分に合ったレベルの長い英文を臆することなく楽しんで読むことができる。
3. 未知語や、一読して十分に理解できない文があっても、気にせず読み続け、文章全体の大意を把握することができる。
4. 1学期間に5～10万語（あるいはそれ以上）読む。

*ただし、レベル診断や個別面談などにより、個々の学習者のニーズに合わせて調整します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	■オリエンテーション 成蹊大学が採用している「多読」の方針を説明します。また、オンライン多読支援システムのXreadingへの登録を行います。 この科目を履修する人は、オリエンテーションに必ず出席して下さい。 *【注意】ここに記載された計画は、履修者の多読の経験などによって変更になる場合があります。実際の授業の詳細な計画は、教室で配付します。	
	復習：初回の授業で紹介された「多読」の方針に沿って、早速多読を始めましょう。 次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第2回	Xreading レベル1 (50-100 headwords)	
	Xreading レベル1の本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分
第3回	Xreading レベル1-2 (101-200 headwords)	
	Xreading レベル2までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分

第4回	Xreadingレベル1-3 (201-300 headwords)	
	Xreading レベル3までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分
第5回	Xreadingレベル2-4 (301-400 headwords)	
	Xreading レベル4までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分
第6回	Xreadingレベル2-5 (401-600 headwords)	
	Xreading レベル5までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分
第7回	Xreadingレベル3-5	
	Xreading レベル5までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分
第8回	Xreadingレベル3-6 (601-800 headwords)	
	Xreading レベル6までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分
第9回	Xreadingレベル3-6	
	Xreading レベル6までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分

第10回	Xreadingレベル4-7 (801-1000 headwords)	
	Xreading レベル7までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分
第11回	Xreadingレベル4-7	
	Xreading レベル7までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分
第12回	Xreadingレベル4-8 (1001-1250 headwords)	
	Xreading レベル8までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分
第13回	Xreadingレベル4-8	
	Xreading レベル8までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分
第14回	Xreadingレベル5-9 (1251-1500 headwords)	
	Xreading レベル9までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分
第15回	まとめ Xreadingレベル5-9	
	Xreading レベル9までの本をできるだけ読み終わらしましょう。	60分

授業の方法

●教室：Extensive Reading専用教室

さまざまなレベルとジャンルの本（3,000～4,000冊）がそろっています。

●「授業内多読」：毎回行う基本的な活動です。

教室に備え付けの図書またはXreadingが提供する本から自分の好みに合うものを選び、まずは訳さなくても分かる易しい英語から読み始め、徐々にレベルの高いものへと進んでいきます。読み終えた本のタイトルや総語数は、Xreadingを使った場合は自動的に記録されます。

●「多読」の学習効果を高めるために、あわせて行うアクティビティ：

ブックレポート、推薦図書の紹介、書評コンクールなどを行います。

●個別の学習プログラムを設計するために行うアクティビティ：

- (1) レベル診断：学期の始めと終わりに行います。
- (2) 個別面談：学期中に少なくとも一回は実施します。

●授業時間以外もXreadingによっていつでもどこでも多読を行うことができます。この授業の目標の真の達成は、これにかかっていると断言しても過言ではありません。

成績評価の方法

1. 授業への積極的な参加30%
2. 課題、授業外での取り組み40%
3. 達成度（リーディング力の向上、読書量等）30%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

Xreading VL (Six month subscription), XLearning Systems, 1500円+税, ISBN: 9784865390698

参考書

『快読100万語!ペーパーバックへの道』酒井邦秀(著), ちくま学芸文庫, 1050円, 4480087044

『100万語多読入門【CD付き】』古川昭夫, 伊藤晶子(著), 酒井 邦秀(編集), コスモピア, 1890円, 4902091259

『英語多読完全ブックガイド』改訂第4版 古川昭夫、他(著)、コスモピア、2940円、4864540284

『多読・多聴最強ガイド-英語の本が辞書なしで楽しめる!』Gakken Mook 英語耳&英語舌シリーズ 1, 学習研究社, 1260円, 4056050775

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	多読で学ぶ英語と文化 <2>		
教員名	小林 めぐみ		
科目ナンバー	1201426010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

本コースでは、英語の基礎力・実力をつける「多読」を行っていきます。(フレッシュャーズ・イングリッシュで手ほどきを受けた多読をさらに発展させた授業となります。) 逐語訳をしたり、一字一句精読したりする作業や問題を解くような読み方ではなく、平易な英語(主に graded readers など多読用図書)を比較的自由にたくさん読みこなしていきます。読むことで読む力を養う、learn to read by reading というアプローチです。英語「を」読むというよりも、英語「で」読むという楽しさを発見してください。授業では、授業内多読に加え、多様な読み方を知るヒントとなるエクササイズや、多読図書の紹介、さらには読書の可能性を広げ、英語力を伸ばすアクティビティーも併せて行います。

到達目標

- DP2 (課題の発見と解決)、3 (他者との協働)、5 (表現力、発信力) を実現するため、次の5点を到達目標とする。
1. 多読という学習法を十分に理解し、効果的に実践することができる。
 2. 自分に合ったレベルの多読用図書が選べる。
 3. 長い英文を臆することなく楽しんで読むことができる。
 4. 未知語や、一読して十分に理解できない文があっても、気にせず読み続け、文章全体の大意を把握することができる。
 5. 設定した目標語数を読む (原則として10万語以上、ただし個人のレベルに合わせて調整)。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	ガイダンス、レベル診断テスト 授業の進め方、多読の趣旨などを説明する。 事前アンケートの記入	
	ガイダンスの内容を確認する。 図書館の多読コーナーを確認	30
第2回	多読学習法の確認・目標設定 読書記録のつけ方ガイダンス 多読図書紹介: ORT, LLL, FRLほか エクササイズ: 速読 (読みの速度確認)	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める。	60
第3回	授業内多読 多読図書紹介: CG, ICRほか エクササイズ: スキミング	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める。	60

第4回	授業内多読（個別面談） 多読図書紹介：PGR, PYRほか エクササイズ：スキヤニング	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める。	60
第5回	授業内多読（個別面談） 多読図書紹介：OBW, ODMほか エクササイズ：Favorite quote Book report作成要領説明	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める。 Book Reportの作成	60
第6回	授業内多読（個別面談） 多読図書紹介：LB, UYRほか エクササイズPrediction	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める。 Book Reportの作成	60
第7回	本の紹介・Discussion Book report提出 多読実践者からのアドバイス・目標中間振り返り	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める。	60
第8回	授業内多読（個別面談） 多読図書紹介：MMR, CERほか エクササイズ：Reading short passages	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める	60
第9回	授業内多読（個別面談） 多読図書紹介：Non-fiction シリーズほか エクササイズ：Read Aloud（音読）	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める。	60

第10回	授業内多読（個別面談） 多読図書紹介：Black Cat, Scholastic ELTほか エクササイズ：GR比較	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める。	60
第11回	授業内多読（個別面談） 多読図書紹介：MTH, Nate, AtoZほか エクササイズ：Reading while listening	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める。 Book Reportの作成	60
第12回	授業内多読（個別面談） 多読図書紹介：Cartoon	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める。 Book Reportの作成	60
第13回	本の紹介・Discussion Book Report提出	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める。	60
第14回	レベル診断テスト、速読 授業内多読	
	指定された課題を実施し、図書館の多読コーナーを利用するなどして多読を進める。	60
第15回	総括 1学期の成果を振り返り、今後の学習につなげる。 事後アンケート記入	
	最終到達語数の報告ができるよう、読書記録に不備がないように確認しておく	60

授業の方法

授業は多読用図書のある教室で行われます。様々なレベルとジャンルの本(3,000~4,000冊)がそろっています。授業内多読が毎回授業で行う基本的な活動になります。基本的に最初は非常に簡単な英語で書かれたものから読み始め、各自のペースで徐々に英語のレベルの高いものへと進んでいきます。その際、読んだ本のタイトルや語数を記録し、多読のプロセスと成果を自らモニターするとともに、レベル診断の結果や、個別面談などで教員からの指導も定期的に受けて多読を進めていきます。(レベル診断は授業開始時・終了時の2回、個別面談は学期中少なくとも1回は行います。)

また、多様な読み方のヒントとなるエクササイズや様々なアクティビティー(推薦図書の紹介、ディスカッションなどの課題や読み聞かせ等を含む)を適宜行って、多読そして英語力向上を促進します。

なお、「多読」という授業の性質上、1学期で少なくとも10万語を読むことを目標とします。多読の趣旨を理解して、授業外でも積極的に英文を読んでください(図書館の多読コーナーなどを利用)。

成績評価の方法

基本的には平常点で評価します。その際、出席を極めて重視します。

授業への積極的な参加40%
課題40%
達成度(リーディング力の向上、授業外での取り組み、読書量等)20%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。さらに上記に掲げた到達目標(多読の理解と実践、習熟度に応じた多読図書の選択、英語学習に対する前向きな意欲、文章全体の大意を把握する読解力など)がどの程度達成できたかを評価の基準とする。

必要な予備知識/先修科目/関連科目

特に必要ないが、「フレッシュヤーズ・イングリッシュ」で学んだ多読学習法をさらに発展させた内容となる。

テキスト

なし。適宜プリントを配布します。

参考書

『快読100万語!ペーパーバックへの道』酒井邦秀(著)、ちくま学芸文庫、1050円、4480087044
『100万語多読入門【CD付き】』古川昭夫、伊藤晶子(著)、酒井 邦秀(編集)、コスモピア、1890円、4902091259
『英語多読完全ブックガイド』改訂第3版 古川昭夫、他(著)、コスモピア、2940円、4902091763

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	多読で学ぶ英語と文化 <3>		
教員名	ザブスラック ロナルド ステファン		
科目ナンバー	1201426010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

長い英語の文章を目の前にして気後れしたことはありませんか？
辞書を引ながら一語一語訳していて疲れてしまったことはありませんか？
この授業は、そういったことを解消するために、多読によって英語の総合的な力を身につけるものです。

そのために英語を、日本語に訳すのではなく、英語のまま読んで理解できるようになることを目指します。
これによって英語の読み方、英語に対する意識が劇的に変わります。
いつの間にか英語を読んだり聞いたりするのが、苦ではないどころか、楽しみになっていることに気づくでしょう。

すべての学生に一度は体験してほしい学習法ですが、
英語を楽しんで読めるようになりたい人、
翻訳で読んだことのある本を原書でも読んでみたいという人、
話題になっているがまだ翻訳の出していない本をいち早く読んでみたいという人には特にお勧めです。

到達目標

1. 多読という学習法を十分に理解し、効果的に実践することができる。
2. 自分に合ったレベルの長い英文を臆することなく楽しんで読むことができる。
3. 未知語や、一読して十分に理解できない文があっても、気にせず読み続け、文章全体の大意を把握することができる。
4. 自分に合ったレベルの本を選ぶことができる。
5. 自分が本当に楽しんで、夢中になって読むことができる（シリーズ）本を見つける。
6. 授業内の読書のみでも1学期間に10～20万語（あるいはそれ以上）読む。
*ただし、目標語数はレベル診断や個別面談などにより、個々の学習者にあわせて調整します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	<p>■オリエンテーション 成蹊大学が採用している「多読」の方針を説明します。</p> <p>この科目を履修する人は、オリエンテーションに必ず出席して下さい。</p> <p>前期に「1」を履修した人も、方針をもう一度確認します。</p> <p>*【注意】ここに記載された計画は、履修者の多読の経験などによって変更になる場合があります。 実際の授業の詳細な計画は、教室で配付します。</p>	
	<p>復習：初回の授業で紹介された「多読」の方針に沿って、早速多読を始めましょう。 次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。</p>	60分
第2回	<p>レベル0.5～1.0 (PGR0～1、OBWO、MMR1、CER0、他) A level test will be given and individual reading goals set.</p>	
	<p>『記録手帳』に読んだ本を記入しながら多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。</p>	60分
第3回	<p>レベル0.5～1.5 (MMR2、CER1、他) Introduction to how to find wordcounts and keep one's reading record</p>	
	<p>『記録手帳』に読んだ本を記入しながら多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。</p>	60分

第4回	レベル0.5～1.5 (MMR2、CER1、他)	
	『記録手帳』に読んだ本を記入しながら多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第5回	レベル0.5～1.5 (MMR2、CER1、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第6回	レベル0.5～2.0 (OBW1、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第7回	レベル0.5～2.0 (OBW1、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第8回	レベル0.5～2.0 (OBW1、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第9回	レベル0.5～2.5 (PGR2、OBW2、CER2、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第10回	レベル0.5～2.5 (PGR2、OBW2、CER2、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分

第11回	レベル1.0～3.0 (OBW3、MMR3、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第12回	レベル1.0～3.0 (OBW3、MMR3、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第13回	Final project: Reading and then explaining a fable to others as well as discussing and deciding what the fable is intending to teach.	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第14回	レベル1.0～3.5 (PGR3、MMR4、他) Level test to check for reading gains.	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第15回	まとめ Class and self-evaluation based on level test change, attendance, whether reading goal was reached and number of books read.	
	最終回の前の準備学修：一学期の自分の多読の成果を振り返りつつ、記入し忘れた項目があれば記入しておきましょう。 最終回の後の学修：多読は、授業の履修が終わっても一生続けられる英語学習法です。この科目で身につけた読書習慣を維持できるように、大学卒業時までの具体的な読書プランを立ててみましょう。	60分
授業の方法		
<ul style="list-style-type: none"> ●教室：Extensive Reading専用教室 さまざまなレベルとジャンルの本（3,000～4,000冊）がそろっています。 ●「授業内多読」：毎回行う基本的な活動です。 教室に備え付けの図書から自分の好みに合うものを選び、 まずは訳さなくても分かる易しい英語から読み始め、 徐々にレベルの高いものへと進んでいきます。 そして、読み終えた本のタイトルや総語数を、『読書記録手帳』に記入します。 ●「多読」の学習効果を高めるために、あわせて行うアクティビティ： ブックレポート、推薦図書の紹介、書評コンクールなどを行います。 ●個別の学習プログラムを設計するために行うアクティビティ： (1) レベル診断：学期の始めと終わりに行います。 (2) 個別面談：学期中に少なくとも一回は実施します。 ●授業時間以外にも読むことを勧めます。方法は授業で説明します。 		
成績評価の方法		

1. 授業への積極的な参加40%
2. 課題20%
3. 達成度（リーディング力の向上、授業外での取り組み、読書量等）20%
4. Final project 20%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

『めざせ100万語！読書記録手帳』，SSS英語学習法研究会著，コスモピア，630円，4-902091-26-7

参考書

『快読100万語！ペーパーバックへの道』酒井邦秀（著），ちくま学芸文庫，1050円，4480087044
『100万語多読入門【CD付き】』古川昭夫，伊藤晶子（著），酒井 邦秀（編集），コスモピア，1890円，4902091259
『英語多読完全ブックガイド』改訂第3版 古川昭夫，他（著），コスモピア，2940円，4902091763
『多読・多聴最強ガイド-英語の本が辞書なしで楽しめる!』Gakken Mook 英語耳&英語舌シリーズ 1，学習研究社，1260円，4056050775

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

Questions are accepted immediately before and after class. / By appointment.

科目名	多読で学ぶ英語と文化 <4>		
教員名	林 千賀		
科目ナンバー	1201426010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

長い英語の文章を目の前にして気後れしたことはありませんか？
辞書を引きながら一語一語訳していて疲れてしまったことはありませんか？
この授業は、そういったことを解消するために、多読によって英語の総合的な力を身につけるものです。

そのために英語を、日本語に訳すのではなく、英語のまま読んで理解できるようになることを目指します。
これによって英語の読み方、英語に対する意識が劇的に変わります。
いつの間にか英語を読んだり聞いたりするのが、苦ではないどころか、楽しみになっていることに気づくでしょう。

すべての学生に一度は体験してほしい学習法ですが、
英語を楽しんで読めるようになりたい人、
翻訳で読んだことのある本を原書でも読んでみたいという人、
話題になっているがまだ翻訳の出ていない本をいち早く読んでみたいという人には特にお勧めです。

到達目標

DP2（課題の発見と解決）、3（他者との協力）、5（表現力、発信力）を実現するため、次の6点を到達目標とする。

1. 多読という学習法を十分に理解し、効果的に実践することができる。
2. 自分に合ったレベルの長い英文を臆することなく楽しんで読むことができる。
3. 未知語や、一読して十分に理解できない文があっても、気にせず読み続け、文章全体の大意を把握することができる。
4. 自分に合ったレベルの本を選ぶことができる。
5. 自分が本当に楽しんで、夢中になって読むことができる（シリーズ）本を見つける。
6. 授業内の読書のみでも1学期間に10～20万語（あるいはそれ以上）読む。
*ただし、目標語数はレベル診断や個別面談などにより、個々の学習者にあわせて調整します。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	<p>■オリエンテーション</p> <p>成蹊大学が採用している「多読」の方針を説明します。</p> <p>この科目を履修する人は、オリエンテーションに必ず出席して下さい。</p> <p>*【注意】ここに記載された計画は、履修者の多読の経験などによって変更になる場合があります。実際の授業の詳細な計画は、教室で配付します。</p>	
	<p>復習：初回の授業で紹介された「多読」の方針に沿って、早速多読を始めましょう。 次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。</p>	60分
第2回	レベル0.5～1.0 (PGRO～1、OBWO、MMR1、CERO、他)	
	『記録手帳』に読んだ本を記入しながら多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第3回	レベル0.5～1.5 (MMR2、CER1、他)	
	『記録手帳』に読んだ本を記入しながら多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分

第4回	レベル0.5～1.5 (MMR2、CER1、他)	
	『記録手帳』に読んだ本を記入しながら多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第5回	レベル0.5～1.5 (MMR2、CER1、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第6回	レベル0.5～2.0 (OBW1、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第7回	レベル0.5～2.0 (OBW1、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第8回	レベル0.5～2.0 (OBW1、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第9回	レベル0.5～2.5 (PGR2、OBW2、CER2、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分

第10回	レベル0.5～2.5 (PGR2、OBW2、CER2、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第11回	レベル1.0～3.0 (OBW3、MMR3、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第12回	レベル1.0～3.0 (OBW3、MMR3、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第13回	レベル1.0～3.5 (PGR3、MMR4、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第14回	レベル1.0～3.5 (PGR3、MMR4、他)	
	多読を続けます。次回の授業までに、教室で指示された課題に取り組んでおきましょう。	60分
第15回	まとめ	
	<p>最終回の前の準備学修：一学期の自分の多読の成果を振り返りつつ、記入し忘れた項目があれば記入しておきましょう。</p> <p>最終回の後の学修：多読は、授業の履修が終わっても一生続けられる英語学習法です。この科目で身につけた読書習慣を維持できるように、大学卒業時までの具体的な読書プランを立ててみましょう。</p>	60分

授業の方法

- 教室：Extensive Reading専用教室
さまざまなレベルとジャンルの本（3,000～4,000冊）がそろっています。
- 「授業内多読」：毎回行う基本的な活動です。
教室に備え付けの図書から自分の好みに合うものを選び、
まずは訳さなくても分かる易しい英語から読み始め、
徐々にレベルの高いものへと進んでいきます。
そして、読み終えた本のタイトルや総語数を、『読書記録手帳』に記入します。
- 「多読」の学習効果を高めるために、あわせて行うアクティビティ：
ブックレポート、推薦図書の紹介、書評コンクールなどを行います。
- 個別の学習プログラムを設計するために行うアクティビティ：
(1) レベル診断：学期の始めと終わりに行います。
(2) 個別面談：学期中に少なくとも一回は実施します。
- 授業時間以外にも読むことを勧めます。方法は授業で説明します。

成績評価の方法

1. 授業への積極的な参加：40%
2. 課題：40%
3. 達成度（リーディング力の向上、授業外での取り組み、読書量等）：20%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

『めざせ100万語！読書記録手帳』，SSS英語学習法研究会著，コスモピア，600円（税抜）、4-902091-26-7

参考書

『快読100万語！ペーパーバックへの道』酒井邦秀（著），ちくま学芸文庫，1000円（税抜），4-480087-04-4
『100万語多読入門【CD付き】』古川昭夫、伊藤晶子（著），酒井 邦秀（編集），コスモピア，1800円（税抜），4-902091-25-9
『英語多読完全ブックガイド』改訂第3版 古川昭夫、他（著），コスモピア，2900円（税抜）、4-902091-76-3
『多読・多聴最強ガイド-英語の本が辞書なしで楽しめる!』Gakken Mook 英語耳&英語舌シリーズ 1，学習研究社，1200円（税抜），4-056050-77-5

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	映画で学ぶ英語と文化 <1>		
教員名	宮脇 俊文		
科目ナンバー	1201426020	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

『プラダを着た悪魔』で英語を学ぶ

一本の映画を50回徹底的に見れば(聴けば)、驚くほど英語力が身につくと言われていました。このコースではその学習法をもとに英語のリスニング力と表現力の向上を目指します。そして、同時にその背景にある文化をも学びます。映画の名場面のセリフを徹底的に分析し、暗唱し、自分のものにしていきます。

到達目標

映画というごく自然な状況で展開される人間模様を英語で理解する能力を身につけ、最終的には字幕なしで理解することを目指し、ひとつの場面を暗唱できるまで、何度も繰り返し学習することで表現力を磨いていきます。また背景にある文化についても学ぶことで、英語への理解をさらに深めていきます。

以上を到達目標とし、DP2(課題の発見と解決)、DP3(他者との協働)及びPD5(表現力、発信力)の実現を目指す。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション グループ分け	
	映画の英語について考える	60分
第2回	ユニット1	
	教材で扱ったシーンの英語を徹底的に暗唱する。	60分
第3回	ユニット2	
	教材で扱ったシーンの英語を徹底的に暗唱する。	60分

第4回	ユニット3	
	教材で扱ったシーンの英語を徹底的に暗唱する。	60分
第5回	ユニット4	
	教材で扱ったシーンの英語を徹底的に暗唱する。	60分
第6回	ユニット5	
	教材で扱ったシーンの英語を徹底的に暗唱する。	60分
第7回	ユニット6	
	教材で扱ったシーンの英語を徹底的に暗唱する。	60分
第8回	中間試験	
	ユニット1～6の総復習	60分
第9回	ユニット7	
	教材として扱ったシーンの英語を徹底的に暗唱する。	60分

第10回	ユニット8	
	教材として扱ったシーンの英語を徹底的に暗唱する。	60分
第11回	ユニット9	
	教材として扱ったシーンの英語を徹底的に暗唱する。	60分
第12回	ユニット10	
	教材として扱ったシーンの英語を徹底的に暗唱する。	60分
第13回	ユニット11	
	教材として扱ったシーンの英語を徹底的に暗唱する。	60分
第14回	ユニット12	
	これまでに教材として扱ったシーンの英語をもう一度徹底的に見直す。	60分
第15回	期末試験	
	ユニット7～12の総復習	60分

授業の方法

テキストに沿って進めていきますが、映画の英語の聞き取りに関しては、グループごとに分かれて作業をしてもらいます。

成績評価の方法

授業への積極性参加度： 40%
中間試験： 30%
期末試験： 30%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

大学教養レベルの英語力

テキスト

Aline Brosh McKenna 著、角山照彦／Simon Capper 編著 『「ブラダを着た悪魔」で学ぶコミュニケーション英語』 松柏社
2200円＋税 ISBN: 978-4-88198-712-4

参考書

原島 一男 著、『映画のなかのちょっといい英語』 麗澤大学出版会 2500円
戸田 奈津子、金子 裕子 著、『ときめくフレーズ、きらめくシネマ』 双葉社 1500円

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	映画で学ぶ英語と文化 <2>		
教員名	小川 貴宏		
科目ナンバー	1201426020	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要	
<p>映画は、それが舞台とする国やそれが制作された国の地域の文化やそこに住む人々のものの考え方、さらには人間の生き方について、さまざまなことを教えてくれます。また、英語をその主な言語とする映画の中においては、様々な階層や種類の人々や場面が登場し、その違いによって異なる文体や表現の英語が用いられているため、我々はそうした映画の台詞（せりふ）からそれぞれのシチュエーションに適した表現を学ぶことができます。</p> <p>本講座では、ディズニーやジブリ（英語音声版）などのアニメ映画も含めたいくつかの映画のシナリオを聴き取り、その英文や内容を詳しく見ながら、状況の違いによる英語の違いや、TPOに合った適切な英語表現、逆に我々が通常の状況では使ってはいけないような英語表現などについての理解を深めていきます。取り上げる映画は可能な限り受講者の希望も考慮しながら決めたいと思います。日本の作品の英語音声版では、日本語の台詞との比較も試みたいと思います。</p> <p>また、受講者のみなさんには、「私のこの1本」または「私と映画」「私の好きな映画監督・俳優」などのタイトルで、受講期間内に1人1回以上、10分以上の映画にまつわるプレゼンテーションを行ってまいります。（英語でのプレゼンが望ましい。英語でやる場合は、準備のお手伝いはします。）自分の好きな作品や映画全般（映画の鑑賞の仕方など）について、人に熱く語ることは大切なことです。また、受講者の希望によっては映画の字幕翻訳や映画に声を当てて演じることに挑戦してみます。</p> <p>期間中に何度か、各自が見た好きな映画（英語音声で見ること！）のあらすじとレビューをA4で1枚程度で英語でまとめてもらう予定です。</p>	

到達目標	
<p>DP1, DP3およびDP5を実現するため、次の点を到達目標とする。</p> <p>英語を話す映画の台詞で用いられるさまざまな表現を知り、状況に合わせた適切な文体の英語の表現について理解を深める。</p> <p>英語を話す映画の中の台詞を「字幕を見ながら」できるだけ聞き取れるようになる。</p> <p>映画の中で描かれている内容の文化的背景についての理解を深める。</p> <p>映画俳優や映画監督、様々なジャンルの映画の作品や映画史、映画音楽などに関する知識や理解を深める。</p> <p>映画について、あるいは個々の映画の作品について（できれば英語で）感想や思いを人に熱く語るができるようになる。</p> <p>自分が見た映画について、あらすじとレビューを英語でまとめることができる。</p> <p>定期的に映画を「英語音声」で見る習慣を形成する。</p>	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	<ul style="list-style-type: none"> - 授業の導入説明と今後の希望等の記入 - 実際に授業で扱う形式でシナリオを見てみる - いくつかの映画のtrailerとweb情報（公式情報やWikipediaの説明など）を英語で見る 	
	自分が好きな映画や取り上げてほしい映画を考え、どういう風に扱ってほしいかを考えてくる	60
第2回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく（期間中何作品も取り上げる予定です。） - 後日行ってもらうプレゼンテーションの構想を書いてみる - ミュージカル映画などの音楽を歌詞を見ながら聴いてみる 	
	自分が行うプレゼンテーションのテーマを考え、構想を練ってくる 映画を英語音声で何か1本見る	150
第3回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく - 映画の台詞と日本語字幕を比較し、映画の字幕翻訳について考える（文化の違いの訳し方、字数の制限内に収める工夫など） 	
	自分が行うプレゼンテーションの準備を進める（以下適宜） 先週見た映画のあらすじをA4の1枚の上半分に英語で書く（Word可；各自の英語レベルで書いてもらって構いません。以下同じ）	30

第4回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく - 映画俳優や女優などについてその出演作品のtrailerとweb情報（公式情報やWikipediaの説明など）を英語で見る 	
	先々週見た映画のレビュー（感想でも可）をA4の1枚の下半分に英語で書く	30
第5回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく - individual short presentations (1) 	
	映画を英語音声で何か1本見る	120
第6回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく - individual short presentations (2) 	
	先週見た映画のあらすじをA4の1枚の上半分に英語で書く	30
第7回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく - individual short presentations (3) - あらすじ・レビュー提出 	
	先々週見た映画のレビューをA4の1枚の下半分に英語で書く	30
第8回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく - individual short presentations (4) 	
	映画を英語音声で何か1本見る	120
第9回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく - individual short presentations (5) 	
	先週見た映画のあらすじをA4の1枚の上半分に英語で書く	30

第10回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく - 多言語の台詞と文化の違いによる翻訳の工夫について見てみる。日本作品の英語音声版の台詞とオリジナルの台詞を比較してみる。 	
	先々週見た映画のレビューをA4の1枚の下半分に英語で書く	30
第11回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく - 映画監督についてその出演作品のtrailerとweb情報（公式情報やWikipediaの説明など）を英語で見る 	
	映画を英語音声で何か1本見る	120
第12回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく - 作品のジャンル（裁判、恋愛、コメディ…）やシチュエーション（俗語のたくさん話される状況など）による文体の違いについて考える 	
	先週見た映画のあらすじをA4の1枚の上半分に英語で書く	30
第13回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく - 映画会社や映画制作会社（Pixarなど）についてその作品のtrailerとweb情報（公式情報やWikipediaの説明など）を英語で見る 	
	先々週見た映画のレビューをA4の1枚の下半分に英語で書く	30
第14回	<ul style="list-style-type: none"> - 個々の映画の作品とそのシナリオを見ていく - ハリウッド映画（アメリカ映画）とイギリス映画、果ては香港映画やインド映画などの英語を比べ、それぞれの特徴を体感する 	
	映画を英語音声で何か1本見て、その台詞の英語について、何かわかったことや感じたことをまとめてくる（第14回の授業の最初に提出してもらいます。）	150
第15回	Final Examination: これまで授業で扱ったシナリオの英語などについて、どれだけ表現が身についたか、文化的な背景について理解が深まったか確認する	
	これまで授業で扱ったシナリオなどをよく見直しておく	180

授業の方法

- いくつかの映画のスク립トを見ながら、せりふを聞き取ったり、絶妙な表現を味わったりしながら、さまざまな状況や登場人物の設定の違いによる英語の文体の違いなどを知り、シチュエーションにあった適切な英語が自分でも話せる一助としていきます。
 - 関連するtrailerなどを見ながら、個々の映画や映画監督、映画俳優、映画史などに関する英文の記事やエピソードを読み、それらに対する理解を深めます。
 - 第5回目くらいからは、受講者が交代で映画に関するプレゼンテーションを行い、映画に関する情報を共有します。
- プレゼンの内容は映画自体、ある映画のジャンル、映画の台詞について、好きな映画俳優・女優について、映画と映画音楽についてなど、映画にまつわることなら何でも構いません。（英語でのプレゼンを歓迎します。）
- 映画とその字幕や台詞などについても考察していきます。

成績評価の方法

以下を基準とします。

授業への積極的な参加と貢献（プレゼンターに対する質疑応答なども含む）およびFinal Examination--50%

プレゼンテーションとその準備状況--30%

提出課題（映画のあらすじとレビュー）--20%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

特になし。必要に応じてハンドアウトを配布しながら進めていく予定です。

☆授業内で適宜使用してもらいますので、電子辞書（なければ紙の辞書）は必ず毎回持ってきてください。スマホでの辞書引きは不可とします。

参考書

特になし。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	ドラマで学ぶ英語と文化		
教員名	ザブスラック ロナルド ステファン		
科目ナンバー	1201426030	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

The purpose of this course is to study not only English but also the cultural content presented through dramatic presentations such as TV dramas, movies, or theatre. In this course I would like to invite the students to share in my excitement of what movies have to offer in terms of culture, language and perspectives toward life.

到達目標

This course will look at three movies and discuss the cultural aspects as well as the life views presented.
 What does it mean to live fully?
 What are roles in the family?
 What is important in how one perceives success or failure?
 We will look at 3 movies that are usually not considered in this respect: The Little Prince, Tuesdays with Morrie and finally Mary Poppins.
 While the course may give you certain ideas, what do they say to you?

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	Introduction and explanation of active listening.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60 minutes
第2回	Introduction to The Little Prince, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes
第3回	The Little Prince, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes
第4回	The Little Prince, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes

第5回	The Little Prince, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes
第6回	Introduction to Mary Poppins, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes
第7回	Mary Poppins, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes
第8回	Mary Poppins, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes
第9回	Mary Poppins, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes
第10回	Mary Poppins, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes

第11回	Introduction to Tuesdays with Morrie, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes
第12回	Tuesdays with Morrie, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes
第13回	Tuesdays with Morrie, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes
第14回	Tuesdays with Morrie, video viewing and discussion worksheet.	
	e-learning (ログイン、学習開始)	60-90 minutes
第15回	Review, class and self evaluation.	
	Report on which movie or topic was most relevant to each student.	60 minutes

授業の方法

This is a student centered class, which means that homework and class preparation are absolutely necessary. A worksheet will be assigned every week and will be the basis of each discussion. Most of the classes will be group work and student presentations as well as student feedback, discussion and evaluation of other students work. Class participation means coming prepared and adding your ideas to each class and discussion. Attendance is important not only for understanding the content but for group work and presentations.

成績評価の方法

Evaluation will be based on class preparation and homework (30%), active group participation and discussion (20%) and presentations/reports (20%). At least 3 video reports (10% each) will be required. Being absent or unprepared will greatly affect your grade.

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No.39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

As we will be viewing parts of the movies in each class, it is hoped that students will borrow and watch the movies in their entirety as well as reading some of the books the movies were based on.

The Little Prince by Antoine de Saint-Exupery
Tuesdays with Morrie by Mitch Albom
Mary Poppins by P.L. Travers

An optional movie "Saving Mr. Banks" would also give insights into what the movie "Mary Poppins" reveals.

テキスト

None

参考書

The Little Prince by Antoine de Saint Exupery
Tuesdays with Morrie by Mitch Albom
Mary Poppins by P.L. Travers

An optional movie "Saving Mr. Banks" would also give insights into what the movie "Mary Poppins" reveals.

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	歌で学ぶ英語と文化 <1>		
教員名	小川 貴宏		
科目ナンバー	1001426040	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 後期

テーマ・概要

しばしば「洋楽」と称される広いジャンルを含む英語の歌は、英語圏の国々が誇る、世界に広がるすばらしい文化であり、英語の音やリズム、英語の語彙や英語圏の人々のものの考え方など、英語圏の言語や文化についても我々に様々なことを教えてくれます。本講座では、フォスターや黒人霊歌にはじまり、現代のR&Bやラップにいたるまで、さまざまなジャンルの英語の歌を取り上げ、実際に歌詞を聞き取りながらその意味や背景を考え、様々な洋楽アーティストの生い立ちやエピソードを見て、ビッグアーティストが生まれる要因や彼らの（普通とは違う）生き様を見ていきます。また、洋楽の歌詞の聴き取りを通じて、英語のリズムや音声に対する理解をさらに深め、歌詞に出てくる英語の表現の意味やニュアンスに対する理解を深めていきます。

到達目標

DP3およびDP5を実現するため、次の点を到達目標とする

- 英米のみならず、カナダ・アイルランド・オーストラリア・カリブ海諸国などさまざまな英語圏の様々なジャンルの洋楽の歌詞を通じて、英語の歌詞に用いられる語彙や発音、歌詞の意味に関して理解を深める
- 英語の歌を毎回聴き、英語のリズムや音に関する理解を深め、英語のリスニング力を高める
- 日本語と英語の母音や子音の音符への載せ方の違いを知り、カラオケなどで英語の歌をうまく聴かせるコツを知る
- 様々な洋楽アーティストに関する文章を読み、彼らが何を考え、一個人として、またミュージシャンとしてどういう人生を送った（送っている）か、またそのブレイクの要因を知って、洋楽や洋楽アーティストに関する理解を深める
- 英語を歌詞とする好きな音楽やジャンル、あるいはアーティストに関して、（できれば英語で）そのよさを他の人々に熱く語りながらプレゼンテーションをして、自らもその準備やプレゼン自体を通して洋楽に関する理解や知識を深める

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	<p>Introduction</p> <ul style="list-style-type: none"> - 洋楽の原点：フォスターと黒人霊歌、ロックンロールの創始者チャック・ベリー、エルビス・プレスリー、そしてビートルズの登場 - 後日行ってもらおうプレゼンテーションの概要説明 - プレゼンの仮のテーマまたはタイトルを考える (書いて提出してもらいます。) <p>自分の好きな、または授業で扱ってほしい洋楽のジャンル、アーティストまたは個別の曲をリストアップしておく (第1回の授業で書いてもらいます。これまで洋楽にあまり触れたことのない人も歓迎で、そう書いてもらえば大丈夫です。)</p> <p>自分が洋楽に関して何がプレゼンしたいか、あるいはプレゼンできるかを考えてみる</p>	60
第2回	<ul style="list-style-type: none"> - 1970年代：Carpenters, Billy Joel, そしてスウェーデンからABBAが参戦 - 1980年代：洋楽の広がりとして1981年、音楽専門チャンネルMTVの開局がもたらした変化～ミュージックビデオに見られる工夫 <p>- 各自のプレゼンの準備を進める</p> <p>- あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる</p>	60
第3回	<ul style="list-style-type: none"> - 1990年代、王道の洋楽（ヒットチャートから） - 2000年代、王道の洋楽（ヒットチャートから） <p>音楽の多様化と時代の反映</p> <p>- 各自のプレゼンの準備を進める</p> <p>- あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる</p>	60

第4回	<ul style="list-style-type: none"> - ジャズとブルースの系譜 - ヒップホップにR&B--Motownに始まり、Michael Jacksonが革命を起こしたAfrican-Americanな音楽の系譜 	
	<ul style="list-style-type: none"> - 各自のプレゼンの準備を進める - あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる 	60
第5回	Individual Presentations (1)	
	<ul style="list-style-type: none"> - 各自のプレゼンの準備を進める。 - あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる 	60
第6回	Individual Presentations (2)	
	<ul style="list-style-type: none"> - 各自のプレゼンの準備を進める - あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる 	60
第7回	Individual Presentations (3)	
	<ul style="list-style-type: none"> - 各自のプレゼンの準備を進める - あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる 	60
第8回	Individual Presentations (4)	
	<ul style="list-style-type: none"> - 各自のプレゼンの準備を進める - あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる 	60
第9回	<ul style="list-style-type: none"> - 日本語と英語の母音・子音の音符への載せ方の違いを考え、英語の歌詞がどのように音符やリズムに載せられているかを見てみる→なぜ歌詞の中でev'ryのような表記が登場するのか - アニメーションやミュージカルの楽曲を題材に、日本語の訳詩に見られる工夫（口の開きに母音を合わせるなど）を考察する - 英語から日本語へ、または日本語から英語にカバーされた曲を考える 	
	<ul style="list-style-type: none"> - あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる - 与えられた課題があれば、それをやってくる 	60

第10回	<ul style="list-style-type: none"> - 洋楽の歌詞の翻訳に挑戦してみよう - カナダ・アイルランド・南半球(主にオーストラリア)・カリブ海など英国・北米以外のアーティストや楽曲 	
	<ul style="list-style-type: none"> - あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる - 与えられた課題があれば、それをやってくる 	60
第11回	<ul style="list-style-type: none"> - パンクとハードロック、ユーロビートとテクノ音楽 - ディスコ音楽からクラブ音楽へーダンスミュージックの変遷 	
	<ul style="list-style-type: none"> - あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる - 与えられた課題があれば、それをやってくる 	60
第12回	<ul style="list-style-type: none"> - 映画やドラマと音楽の深いカンケイ: GleeとHigh School Musicalを考える - ディズニーを含めたアニメの音楽を考える 	
	<ul style="list-style-type: none"> - あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる - 与えられた課題があれば、それをやってくる 	60
第13回	<ul style="list-style-type: none"> - クリスマスはアーティストにとって最大の書き入れ時ー4つのジャンルで展開されるクリスマス・ソングを堪能する 	
	<ul style="list-style-type: none"> - あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる - 与えられた課題があれば、それをやってくる 	60
第14回	<ul style="list-style-type: none"> - 2010年以降の王道のアーティスト - 国(全米・全英など)によるヒットチャートの傾向の違いを比べてみる 	
	<ul style="list-style-type: none"> - あらかじめ指定された文章があれば、それを読んでくる - 与えられた課題があれば、それをやってくる 	60
第15回	Final Examination	
	これまで学んだことを復習しておく	180

授業の方法

- 毎回の授業では、実際に英語を歌詞とする曲を数曲取り上げ、歌詞を見ながら（埋めながら）何曲か聴いて、普段通り過ぎてしまうような歌詞の意味や背景をじっくり考えていきます。
- 歌詞がどのようにメロディーやリズムに載せられるかを楽譜を見ながら知り、英語の歌をどのように歌えばそれらしく聴こえるかを考察します。
- 第5回以降しばらくは、みなさんに各自のイチ押し洋楽アーティストや楽曲、洋楽の歌詞、ジャンル（たとえばディズニー）など洋楽に関する何でもに関して5～10分程度のプレゼンテーション（PowerPoint・YouTubeなどの使用歓迎--PCはこちらで用意します）をしてもらいます（英語でのプレゼンを歓迎します。）

成績評価の方法

授業への積極的な参加と貢献（プレゼンターに対する質疑応答なども含む）--20%
プレゼンテーションとその準備状況--30%
Final Examinationおよび提出課題（reviewなど） - 50%

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

基本的にハンドアウトを用意して授業を進めていく予定です。
☆授業内で適宜使用してもらいますので、電子辞書（なければ紙の辞書）は必ず毎回持ってきてください。スマホでの辞書引きは不可とします。

参考書

特になし。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	歌で学ぶ英語と文化 <2>		
教員名	黒崎 紫乃		
科目ナンバー	1001426040	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2018年度 前期

テーマ・概要

英語の歌を聴くことは、生きた英語を学ぶのに良い教材の一つといえます。歌詞には、英語独自の語法や修辞パターン、語彙の使用方法など、豊富な言語表現のかたちが見られます。また、音声面においても、英語に特有のパターンや強弱があり、話し言葉における特徴が見られます。この授業では、様々なジャンルの英語の歌を聴き、英語のリスニング力の向上とリズムの習得を目指します。また、歌詞を読み分析することで、語彙・表現力が身につくことを目指します。同時に、イギリス、アメリカ、カナダ等、歌が作られた多様な国々の背景にある文化や社会についての文章を読み、それぞれの歌の文化圏についての理解がより深まることを目標とします。

到達目標

- ・ 英語の歌を聴くことによってリスニング力を向上させること。
- ・ 歌詞を声に出すことによって、英語特有のリズムを習得すること。
- ・ 歌詞の口語表現や文化的背景を学ぶことを通して、英語の語彙・表現力を向上させること。
- ・ 歌が作られた背景についての文章を読むことで、その文化圏への理解を深めること。
- ・ 関心のある英語の歌と文化的背景についてプレゼンテーションし、歌への理解を深めること。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	Introduction -洋楽の歴史とジャンル -プレゼンテーションの概要について -リスニング用教材の紹介	
	シラバスの内容および概要を読む	60
第2回	Canada: フォーク、ポップス	
	指定された歌をリスニング教材を使用して聴き、文章を読む	60
第3回	US(1): フォーク、カントリー	
	指定された歌をリスニング教材を使用して聴き、文章を読む	60

第4回	US (2) : ソウル、R&B	
	指定された歌をリスニング教材を使用して聴き、文章を読む	60
第5回	US (3) : 映画曲	
	指定された歌をリスニング教材を使用して聴き、文章を読む	60
第6回	US (4) : ポップス (70年代以降)	
	指定された歌をリスニング教材を使用して聴き、文章を読む	60
第7回	UK (1) : ロック (ビートルズ以降)	
	指定された歌をリスニング教材を使用して聴き、文章を読む	60
第8回	UK (2) : ポップス (70年代以降)	
	指定された歌をリスニング教材を使用して聴き、文章を読む	60
第9回	US&UK : ミュージカル曲	
	指定された歌をリスニング教材を使用して聴き、文章を読む	60

第10回	Ireland : (アイルランド民謡、ポップス)	
	指定された歌をリスニング教材を使用して聴き、文章を読む	60
第11回	Presentations (1)	
	プレゼンテーションの準備および資料作成	60
第12回	Presentations (2)	
	プレゼンテーションの準備および資料作成	60
第13回	Presentations (3)	
	プレゼンテーションの準備および資料作成	60
第14回	Presentations (4)	
	プレゼンテーションの準備および資料作成	60
第15回	Final Examination 授業で取り上げた歌と読解の総まとめ	
	授業で学んだことを総復習する	60

授業の方法

- 毎回の授業前に指定した曲のリスニングを行うと同時に、歌詞の語彙や表現を学び、意味を考えます。また、その曲が書かれた歴史的、文化的背景についての文章を読んで、歌に対する理解を深めます。
- ペアまたは小グループで紹介したい曲について、歌詞の意味や歌が作られた背景と共にPowerPoint等の視覚資料を使用したプレゼンテーションを行っていただきます（英語でのプレゼンテーションを基本とします）。
- プレゼンテーションの際の使用機器（PC等）はこちらで準備します。

成績評価の方法

1. 授業への積極的な参加と貢献（30%）
2. プレゼンテーションおよびその準備（30%）
3. Final Examinationおよび提出課題（40%）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし。

テキスト

授業内でハンドアウトを配布する。

参考書

初回授業で紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。